

(公財) ひろしまこども夢財団は、 地域の子育てを応援します！

(公財)ひろしまこども夢財団では、広島県と協力し、県内のそれぞれの地域で、子育て当事者、子育て支援者、地域の関係者が積極的に繋がり合い、安心して子供を生み育てることができる環境づくり・地域づくりに取り組んでいます。

支援者同士の情報交換、
ネットワークづくりの場にも!!

子育て支援者の ネットワークづくり

子育て支援者向け研修、
交流会、情報交換会

“パパママ・子供と地域をつなぐ”
取組を応援!!

みんなで創ろう！ わがまちの子育て

～子育て家庭が暮らしやすいまちづくりの提言～
(平成25年3月)

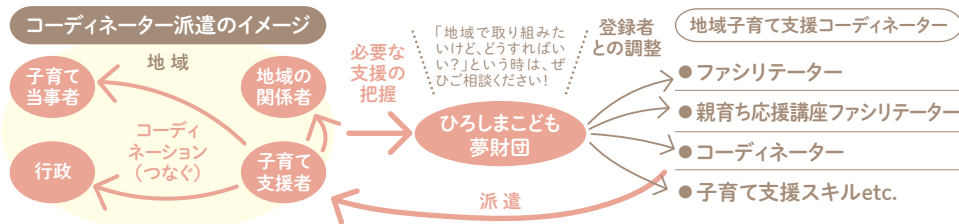
地域の子育て応援の取組を紹介(イクちゃん子育て応援団～支援のカタチ～)

イクちゃんネットの「イクちゃん子育て応援団」では、県内各地域で、様々な立場の人々や団体がやっている地域の身近な子育て支援や応援活動の様子を、活動への思いと共にご紹介しています。



地域の子育て応援活動を支援(地域子育てコーディネーター派遣事業)

県内のそれぞれの地域で、子育て当事者、子育て支援者、地域の関係者、行政等が繋がり合って行う子育て支援の取組に対して、地域子育て支援コーディネーター登録者を派遣して、地域の子育て応援活動を支援しています。



広島県の子ども元気いっぱいキャラクター **イクちゃん**

..... 公益財団法人ひろしまこども夢財団

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県庁5階 TEL082-212-1007

公益財団法人ひろしまこども夢財団は、広島県の明日を担う子供の健やかな成長を願い、安心して子供を生み育てることができる環境づくりと、子育て家庭や子育て応援活動を支援することにより、子供が夢を持ち、子育てに喜びが持てる社会の構築に寄与することを目的とし、各種子育て支援事業を推進しています。

もくじ

はじめに	01
私が考える“子育て支援・応援のカタチ”	02
子育て支援座談会	
地域で活躍する“子育て支援者”のみなさん	06
子育てママのリアルボイス	08
私たちが応援します	10
子育て支援活動紹介	
広島市	11
県西部地域	50
県東部地域	74
県北部地域	88

※主な活動拠点ごとに掲載しており、実施場所は異なる場合があります。



子育てに役立つ
情報お届けします!

広島県の子育てポータル「イクちゃんネット」

広島県の子育てに関する情報をワンストップで提供

《内容》 イベント情報、子育てサークル情報、子育て相談機関情報
医療・救急情報、先輩パパ・ママからの体験談&アドバイス等



広島県の子ども
元気いっぱいキャラクター
イクちゃん

イクちゃんネット

検索

はじめに

今、核家族化や地域とのつながりの希薄化などにより
身近に相談相手がおらず、子育てに不安や負担を感じている
子育て家庭も少なくないことと思います。

一方で、広島県内では、ママやパパの気持ちに寄り添い、
子育てを応援してくださる方や、仲間の輪がどんどん広がっています。

こうした様々な活動をもっと皆さんに知っていただくため、
この度、県の子育てポータルサイト「イクちゃんネット」に掲載している活動を
「支援のカタチ～地域みんなで子育て応援!」として冊子にまとめました。

子育て真っ最中の方には、身近な子育て支援を知るきっかけとなり、
支援者やこれから子育て支援に関わりたい方には、
つながり作りのきっかけとなるよう願っています。

県内には、この冊子でご紹介している活動のほかにも、様々な支援のカタチがあります。
すべての子供が健やかに夢を育むことができるよう
地域みんなで子育て応援の輪を、さらに広げていきましょう!





子育てひろば ころろ
山内 美緒さん

座談会メンバー紹介

子育て中の親子が抱える不安・問題を、
ていねいに受け止め、
解決の糸口を探りたい



子どもコミュニティネットひろしま代表
小笠原 由季恵さん



みらい子育てネット
きゅうびいmama代表
佐藤 恒子さん



子育ておたがいさま〜ズ
塩成 聖恵さん



私が考える“子育て支援・応援のカタチ”

子育て支援座談会

子育て支援を始めるきっかけは何だったのか、活動してみてどうだったのか。
実際に子育て支援活動に携わる4名の方に話し合ってもらいました。

子育て支援を 始めたきっかけは？

塩成さん…私は夫の転勤で東京から広島へ来たんですが、東京での子育ては夫が仕事で忙しく子供と2人きり…、広島へ来ても全然友人がいなかったの、これは作らねば！と公民館のサークルで友人探しをしたんです。でも思うものがなくて…それなら自分で作ろうと、親子が集う場所としてオープンスペースの立ち上げに参加しました。一番困ったのが場所代が払えないことだったので、公民館とタイアップしてやってみました。当時はお金をいただくという概念もなかったのが無料。でもお金はないから、自分の子が使っていたおもちゃを提供したり、公民館から呼びかけてもらい、不要になったおもちゃを集めたり。そうして10年くらい続けましたね。

佐藤さん…私の場合は14年前から、支援とかボランティア

んでいる親子を見ても暇でないなあと思っていました。ところがいざ自分が子供を産むと、暇で公園にいたわけじゃないんだ！と気付くわけです。こっちの世界に来ると全然違うじゃない。全部自分でやらないといけないし、相手は言葉も通じないし…。自分の娘が私の立場になったとき、私と同じ状況だったら嫌だな、その頃に何かちょっと変わっていたら嬉しいなと思いき、動き始めました。子育ての情報誌づくりに参加したり、子育てサークルに入ってみたり。その頃、公民館がオープンスペースを作る話があって、スタップになりませんか？と誘われたんです。でもそこもお金がなく、スタップ3名で他のサークルでパネルシアター(動く紙芝居)を行い、出稼ぎみたいにあちこちで少しずつお金を稼いでオープンスペースに還元しようという活動を始めました。結局、そのお金は受け取れないと言われたんですが…。で

活動です。自分が親になった頃、尾道では親子サークルや広場が少なく、子供を連れて行ける場所もあまりありませんでした。第1子が生まれた時にはママ友もおらず、1日家にいるとストレスも溜まりますから、児童館に通っていました。そこには当時「母親クラブ」と呼ばれていたものがあって、その代表の方がいなくなるのでやらないかと誘われて始めたんです。児童館に所属している感じですね。はじめの頃は子育て仲間と一緒に、お母さんが第二子と遊んでいる時に下の子を隣の部屋で見ている状態でしたが、ママ達への支援も大切だと思い、本格的にお母さん支援をスタートさせました。その後児童館から外れることになって、細々とですが親子サークルや先生を呼ぶでの講演会などの活動を続けています。

山内さん…そうなんです。私自身もともとそんなに子供好きというわけではなく、公園で遊ぶも、そうして色々な場所に出前する小さなグループとして活動したことで、様々な団体とつながりが持てましたね。

小笠原さん…山内さんともそんな中で知り合いましたもんね。私を感じていたのは、子供は自分の意思だけで生きるの、難しいということ。親の意を強く受けて育つこと、そのことにとってもストレスを感じていました。だから自分の子供は自分なりに生きてほしいと思っていたんです。『子供がいかに自分らしく生きていくか』まさにそこがスタートで、28年前から子供支援を始めました。子供自身が豊かに育つという部分から親子劇場に入り、子供がいかに子供らしく生きられるかの支援活動を続けてきたんです。そこで実感したことは、子供が変わると親が変わるということ。でも、10年くらい前から子供はこんなに変わっているのに親はそれに気付かない、ということに気付いたん

です。そこで、これは子供の支援だけじゃなく、親への支援も必要だと感じました。そこから「子育ておたがいきま〜ズ」の活動を手伝いながら、団体としては5〜6年前から月に2回、親子の場を作ったのが子育て支援の最初です。たしかに社会環境が変わったので親も変わったと思います。環境が良すぎるから配慮推察する余地がない。でもそういう環境で子育てをしなければならぬ親達を見ながら、今は逆に学ばせてもらっています。

支援活動をしていて感じることは？

山内さん…私が子育てを始めた頃、家でもパソコンを買いインターネットを利用し始めました。その頃にも子育て掲示板というのがあって、あせもの薬はどれがいいかとか、そこから得た情報が役に立つことはいくつかはあったんです。でも今は格段に情報が増えて便利になりましたよね。それなのに何を信じていい

ママ達にとって、広場は安心な場所 成長できる場所になっていると思う

のか逆に迷っている人がとても多いなと感じます。便利になったぶん何かしらが不便になったなど。利用者の方たちといういろお話しをするんですが、直接会って話した相手から言われた言葉というのは安心できるみたいだなと、ママたちを見ていて思います。



塩成さん…それから、私たちが子育てしていた時代は外遊びができたけど、今は地域のひとのつながりもないし、危険もあった

りするから、こういう広場の方が安心感があるのかなと思います。例えば台風の時も、家に子供と2人だけだと不安だからと、やって来る人も多いんですよ。誰かがいる安心感があるんでしょうね。だから警報が出ても開けています(笑)

佐藤さん…すごいですね！でもママ達にはありがたいですね。私が主宰している親子サークルは、同じメンバーで1年間過ごします。子育て広場に行かない人や、行政サービスに馴染めなかった人、転勤族の方にも参加してもらいたいと思っています。中にはコミュニケーションが苦手な方もいるので、1年間メンバーが一緒にだと安心感もあるんです。そして1年を通じて関わることで元気になったり、人のお世話までしてくれるようになったりし

現代のママ達の子育てに思うことは？

小笠原さん…今は、小さい時から色々な体験をする機会が少なくなっているの、「子育て」という初めての体験への不安感が大きいですね。だから逆に、ちょっとしたことも自信につながるのかな。怖いのはネット上の不確かな情報を信じて

実行していること。でも昔の非常識が今の常識になっていることもあるから、私たちも一概には言えないですね。育児とスマホの関係だって、何が正しくて何が間違いかわからないことも増えてきたから大変だなと思うことはありますね。

佐藤さん…でも、他の人を見て直接学べるというのはこういう広場の良いところですよ。本とかネットではできないことですからね。

塩成さん…それで言うと、子育て広場などでいろいろな親子と一緒に過ごしてみると、お互いから学ぶことも多いようですね。ここではママにお茶を飲みながらゆっくりしてもらい、その間、少しお子さんから離れてもらおう。そうすると、人見知りをし

たらどれだけ泣くかがわかるんですよ。ママにとっても、ほかのママはあやつてあやすんだと参考にもなりますから。

山内さん…周りのママがあやしてくれたりもしますね。誰かの子供が立って歩けたことをみんなで見ると嬉しくなります。



佐藤さん…みんなと一緒にいるうちに、自分の子は他の子に比べてこういうところが個性なんだとわかる。子供がどんなものかわからないママが、子供ってこんな風なんだと知ることのできる良いチャンスですよ。もしかしたら群れることを望んでいなくても、結果「みんなで子育て」になっていますね。

小笠原さん…ここに来た時だけという適度な密着感がいいんでしょうね。

普段の生活からできる子育て支援とは？

山内さん…何か、特別な資格を持っていなくても、子育て支援って誰にでもできることじゃないかなと思います。

塩成さん…声を掛け合うのも子育て支援かもしれないし。

小笠原さん…声を掛けつらい時は心の中で親子連れを見て可愛いと思うことから何か変わるかも。例えば子供を見るとなんとなく微笑んでしまうでしょう。その目線の輪が広がっていくことは、子育てしている人にとって温かいはず。周りに気を遣いながら子育てしているかもしれないですからね。

自分が子育てで経験してきたこと

その気持ちで他の人にもより添えれば



地域で活躍する“子育て支援者”のみなさん

オープンスペースを 手伝う縁の下の力持ち

毎月第1・3金曜、広島市中央公民館で実施されるオープンスペース（乳幼児と母親が集える場）の朝の準備風景の中に、酒井澄さんの姿はあります。マットを敷いたり、オモチャや机、本棚などを運んだり、常設のスペースではないため、準備は結構大変な作業。そんな作業を黙々とこなすのが酒井さんです。

きっかけは7年ほど前。民生委員として活動する中でオープンスペースの存在を知り、何箇所が見学されました。その中の1つだった中央公民館で、朝



▲自作の机について説明する酒井さん



さかい 澄さん

7年ほど前から、オープンスペースの準備をボランティアで手伝いに来ている。

の準備が大変なことを実感し、以来手伝いに来られています。また、荷物出しだけにどまらず、安全性を考えて子供用の机や椅子も自作し、オープンスペースへ提供されているそう。実は酒井さん、家ではお母さんの介護をされているそうですが、時間を作り何年も手伝いに通われているんです。「私は動ける範囲で動いているだけです。だから何年も続けることが目標でもないし、世の中の変化に合わせて登場する人、退場する人がいていいと思うんです」と笑う酒井さん。準備が終わればサッと帰宅するという縁の下の力持ち。肩肘張らないその姿勢が、長く続ける秘訣かもしれません。

大好きな場所だから、 お手伝いしたい！

大竹市の自然豊かな場所に建つログハウスは、NPO法人子育てハッピーネットほのぼの館。芝生と大型遊具もあり、広島や岩国からなど、いつも多くの親子が訪れ賑わいます。そこで副理事長を務めるのが、中野友加さん。2児のママです。不安を持ちながら子育てをしているママ達に、子供と楽しんで過ごせる施設を作りたいという前理事長の思いと、休館していた児童館の施設を活用したいという大竹市の思いがマッチングして誕生した「松ヶ原こど

▲子供達とイベントを楽しむ中野さん



ゆか 友加さん
なかの 中野さん

利用者であったママの立場から、運営スタッフへ。現在は副理事長として働いている。

も館」。中野さんも開館当初は子育て真っ最中で、こういう場所ができたと聞いてよく利用していたママの1人でした。そんな中、「一緒に働いてみない？」と誘われ、子育てもひと段落した時期でもあったので、今まで好きでずっと通っていたこの場所です。今度は逆にお手伝いしたい！と運営スタッフへと転身したのです。「ここには子育て中のスタッフもいますが、みんな自分の子育てを大切にしながら、それぞれのスタイルで働いています。今後もママ達にとってホッとしてもらえるスペースであり続けたいですね」と中野さん。利用者目線を持った彼女だからこそ、運営にもきつと、それが生きていくはずなんです。

孤食の子供達に あたたかいご飯を

親が仕事で忙しく夕食を一人で食べている子供、カップ麺やお菓子が夕食になっている子供：そんな子供達に月に1回、2回でも栄養バランスのとれた食事を提供したいと、福山市に「そらまめこども食堂」をオープンさせた藤井彩加さんと森原舞さん。食材の提供や寄付金をホームページで呼びかけ、市内のコミュニティセンターで幼児〜高校生の子供達に無料で提供しています。

始まりは藤井さんがテレビで観た「こども食堂」の特集。身近にもこうした状況があるのだ

親子が一緒に楽しみ、 成長できる場を提供

親子を対象にBBQやキャンプ、田舎暮らし体験などの自然体験活動を行う「ハンターキッズ」。君田にある拠点スペースを中心に、県内各地でパラエティに富んだアウトドア活動を展開しています。その代表を務めるのが、青木俊介さん。

現在は3児のパパである青木さんですが、最初の子育ては寝付かない子供に夫婦共に眠れない日々が続く、精神的に疲弊していたと振り返ります。そんな時、夫婦をキャンプに誘ってくれたのが友人達でした。キャンプでも子供の夜泣きは相変



▲調理中の藤井さん(左)と森原さん(右)



ふじい 彩加さん / あやか 藤井さん
まい 舞さん / もりほら 森原さん

藤井さんは子供服販売、森原さんはエステティシャンという仕事を持ちながら、子供達のためにこども食堂を運営する。

ろうかと調べたところ、当時同様の食堂はなく、ならば自らができることはないかと思いつたそうです。しかし、自分1人では何から始めていいかわからず、友人の森原さんを誘い、彼女も藤井さんに共感したのだとか。来るもの拒まずの食堂は、30名もの親子で賑わうことも。「家では野菜を食べないの」ここでは食、べてくれる『仕事でちゃんとした料理を作れてなかったけど、ここでは栄養バランスの優れたものが食べられるし、ゆつくり子供と話す機会も持てた』。そんな言葉を聞いたのが励みです」とお2人。今後はもっと困っている子供達へも自分たちの活動を浸透させていきたいそうです。

わらずでしたが、友人達がサポートしてくれ、久しぶりに2人で笑い合う時間が持てたそう。その日の経験から、育児に疲れている親への抛り所となりえる場所の必要性を感じ、サークル設立を決意。今では家族での参加や普段なかなかアウトドア体験ができない母子家庭の親子の参加など、どの活動も大人気です。また、失敗を通して成長していく子供達のたくましさはもちろん、大人同士が語り合う場を設けているのも、青木さん流のポイント。今後は、サークル自体の盛り上げはもちろん、アウトドアのスキルを対防災のスキルとしても活用できるような活動にも取り組みたいと話してくれました。

▲君田冒険レジャーズでのキャンプの様子



しゅんすけ 俊介さん
あおき 青木さん

普段は総務・人事を担当するサラリーマンで3児のパパ。自身の経験を生かすべく、2011年、ハンターキッズを設立。



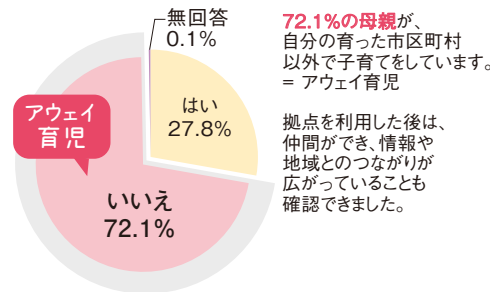
子育てママのリアルボイス

多くの子育て中のママは、もともと自分が育った地域以外で子育てしています。身近に子育てを相談したり、預けたりできる環境が少なく、その分、周囲の温かい言葉が心の支えになっているようです。子育て中のママを取り巻く環境と生の声をお伝えします。

子

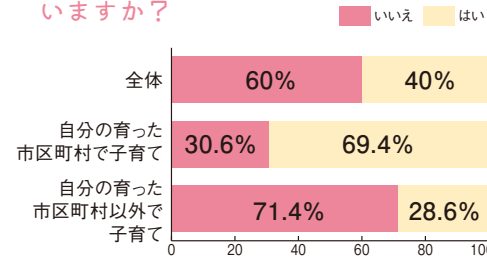
育て中のママが求める支援には、親子をサポートする施設や制度の充実に加え、もっと身近にいる人たちの仲間作りや声掛けが子育ての励みになっていることが分かりました。「地域子育て支援拠点事業」に関するアンケート調査2015[※]によると、「自分の育った市区町村で子育てする母親27.8%に対し、「自分の育った市区町村以外で子育てする母親」では72.1%に達しており、地域とのつながりが薄いため、子育ての手助けが不足。子育て家庭の孤立や育児不安の解消等を図る身近な相談・交流の場所を求めていることが分かります。また(公財)ひろしまこども夢財団が調査した「乳幼児の子育てにおける母親の意識に関するアンケート」の結果から、周囲のちょっとした心遣いが大きな励みにもなっているということがわかりました。他人からの「感謝の気持ち」「いたわり」「ねぎらい」といった、何気ないひと言葉や心配りが子育て中のママの自信ややる気につながっているようです。

Q.あなたが育った市区町村で、現在子育てをしていますか？

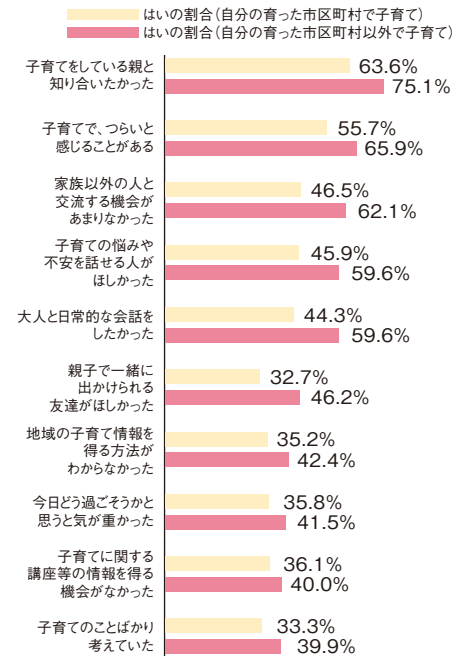


※2015(平成27)年11月1日～11月30日
全国の地域子育て支援拠点利用者2,400人に対して実施

Q.近所で子供を預かってくれる人はいますか？



Q.子育て支援拠点を利用する前のあなたの子育て状況をお答えください。



※「地域子育て支援拠点事業に関するアンケート調査2015」NPO法人子育てひろば全国連絡協議会より引用



イクちゃんネットアンケートより
(2017.1.29～2017.2.1)

広島県の子ども元氣いっぱいキャラクター
イクちゃん

かけてもらったうれしい言葉

- 幸せって顔に書いてあるね。と子供について言ってもらって、子育てを肯定してもらえたように嬉しかった。(40代3児のママ)
- 笑顔が良いね。3人共そっくりよ、ママ。(40代3児のママ)

されてうれしかった行動

- ずっと二人目の妊娠を待っている人に、赤ちゃんを抱かせてお願ひされ、本当に愛情深く抱いてもらった。(40代3児のママ)
- 1歳未満の子供を連れていたら、可愛いねえ、大変だけど頑張ってるね、と褒められた。(30代2児のママ)
- イヤイヤ期のカンシヤクで自分自身が追い込まれていたとき、子育て支援センターの方の「よく頑張ってるねえ。遠慮せずに、またいつでも遊びに来てね。」という言葉。(40代2児のママ)
- 生後9カ月の双子を連れて、一人で買い物に行った時、通りがかった方が、(使い終わったシヨップングカートを一持って行ってあげますよ!)と言って、返却してくれた。(40代2児のママ)
- ベビーカーに子供を乗せて出かけた時にドアを開けてくれた時。とてもありがたかったし、うれしかった。(20代生後2カ月児のママ)
- ベビーカーお断りの食堂で4カ月の赤子を抱いて食事をとっていたら、食事を終えたお客さんが私が食べ終わるまで赤子を抱っこしてくれた。(40代3児のママ)
- ちょっとしたことでも気軽にお願いできるボランティア。(40代3児のママ)

こんな人が身近にいたらいいのになあ

- 子供好きなおばちゃんやおばあちゃん。時間がある時に少しだけ、子供を外遊びに連れて行ってくれる人。(30代2児のママ)
- 仕事で遅くなることが多いので、もしもの時に頼るように、子供に言える近所の人。(40代3児のママ)



広島市

NPO 法人 e子育てセンター

- 問 合 TEL.082-874-5599
- 実施場所 広島市安佐南区祇園 3-25-23-601
- ホームページ
<http://www.e-kosodate.net>



安心して笑顔で子育て 子どもが健やかに育つ社会に

- お母さんお父さんの思いに寄り添う事
 - 子どもの安全・安心と笑顔が一番を考える事
 - 地域のさまざまな社会資源とつながりあう事
- この3つを理念として活動しています。

運営方針としては

- ◇仕事や学び、リフレッシュのために子どもを安心して預けられる場をつくる事
- ◇安心して親子で過ごせる場をつくる事
- ◇お母さんお父さんが安心しておしゃべりできる場をつくる事

これらを念頭に、一時保育・産前産後サポートや、広島市公募型常設オープンスペースの運営（安佐南区内2か所）、サイトによる情報発信などを行っています。特にひろばには連日多くの利用者さんが来られ、気軽に交流されて、笑顔で帰られます。

また、土曜日にひろばを開催する事で、パパの参加、つながりも増え、夫婦で子育てに関わり始める姿が見られます。それにより、時にはママのリフレッシュのために、心おきなく一時保育サポートを利用するなど、家族で心に余裕を持って子育てしていく様子が見られる事から、益々この活動のつながりを広げていきたいと思えます。



子育て支援活動紹介

私たちが応援します



県内各地域で行われている子育て支援活動を紹介いたします。この冊子は、県の子育てポータルサイト「イクちゃんネット」に掲載している団体等の取組をまとめたものです。各団体等から寄せられた紹介文をそのまま掲載していますので、内容についてはそれぞれの団体等へ直接お問い合わせください。なお、この他にも県内各地域で子育て支援活動が行われています。取組を紹介したい団体等ありましたら、窓口の(公財)ひろしまこども夢財団までお知らせください。

イクちゃんネットでは広島県にある子育て支援活動を紹介しています



支援のカタチ

検索

- 問い合わせ先 公益財団法人 ひろしまこども夢財団
TEL/FAX(082)212-1007

広島市

NPO 法人
ママの働き方応援隊
広島東校・赤ちゃん先生プロジェクト

- 問 合 TEL.090-9984-2113(高田)
- 実施場所 広島市・府中町・東広島市・廿日市市・江田島市・竹原市等
- ホームページ
<https://www.mamahata.net/>



「子育て中」は、もはや「ブランク」でも「デメリット」でもナイ!

日本は、出産を機に多くの女性が仕事を辞め、女性が働き続けにくい国といわれています。これは、ワークスタイルの課題でもある一方、我が子と一緒に居たいというママの願いでもあるのです。

そこで「子育て中」「こどもと一緒に」だからこそ、社会や人の役に立てる働き方『赤ちゃん先生プロジェクト』が誕生しました。

学校では、命の大切さを感じる授業を。

高齢者施設では、癒しのアクティビティを。

婚活パーティでは、緊張をほぐしご縁をつなぐお手伝いを。

企業では、こどもやママに優しい商品・サービスの共同開発や、働きやすい風土をつくる社員研修を。

ママは赤ちゃんと一緒に、講師として様々な現場で活躍しています。

活動を通じてママの育児鬱は自然と解消し、多様な人とのかかわりや経験から成長、赤ちゃんの社会性も自ずと育まれます。

鬱々していたママが笑顔にあふれ、パパが一番喜んでいっているという嬉しい声も。

私たちと一緒に「子育て中がメリットになる働き方」を創り、笑顔で子育てしませんか?



広島市

NPO 法人 あいあいねっと

- 問 合 TEL.082-819-3023
- 実施場所 広島市安佐北区可部 6 丁目 7-13
- ホームページ
<http://www.aiainet.org/>



食べ物のもったいないについて親子で考える場を

私たち、NPO法人あいあいねっとは、食べられるのに捨てられてしまう食品を食品企業（食品メーカーやスーパー）、農家、個人から寄付していただき、それを必要としている母子支援施設や障害者支援団体などの福祉施設へ無償で寄贈する“フードバンク活動”を行っています。フードバンクには、パッケージの印字ミスや凹み、季節の過ぎた商品、育ちすぎた野菜等、まだまだ食べられるのに商品にならないという理由で捨てられてしまう食品がたくさん届けられます。2016年に届けられた食品は25.7tにもなりますが、日本全体から出る食品ロスは約632万tと、とても想像もつかないほど多くの量が出ています。そのうち約302万tは家庭から出ており、それを一人1日にすると卵1個分となります。卵1個分と思うと一人一人が気を付けていけばなくせそうだと思いますか？

あいあいねっとでは、このような日本の食品ロスの現状をわかりやすく解説しながら、どうしたら家庭でのもったいないがなくなるかを子育て親子や皆さんと一緒に考える食育講座や、あいあいねっとに寄せられた食品や家庭で余りがちな食材を活用した料理教室を開催しています。（開催は、ご要望に合わせて行います）普段、なかなか意識しないもったいないというテーマですが、お気軽にお問い合わせください。

左上:「身近な食品ロスを考える～無駄をなくして暮らしも心も軽やかに!～」講座

左下:小学校での料理教室 右下:もったいない料理



広島市

NPO 法人
日本タッチ・コミュニケーション協会

●実施場所 (事務局)
広島市中区富士見町 11-6-926

●ホームページ
<http://npojatc.com/>



タッチのプログラムでストレスに強い(レジリエンスな)子どもを育てよう!

少子化、核家族化が進み、現代は誰でも育児不安、育児疲労を抱えやすい時代です。母親のストレスを軽減する為、当法人代表の宇治木敏子は、2000年から産婦人科医師、内科医師と共に研究し、「ベビーマッサージの安全性」と「親子双方のストレス軽減効果」を引き出す成果を挙げました。

そして、日本で初めてベビーマッサージを母親の効果の視点で研究し、社会貢献に活用した取組を進めてきました。

また、母親のニーズ調査をし、育児不安、育児疲労の改善、またそれに起因して起こる乳幼児虐待の予防の為に、最も有効なプログラムを開発し、親子双方のストレス軽減効果を引き出す特別なベビーマッサージ方法として『タッチ・コミュニケーション® 育児支援プログラム』と名付け、セミナーを開催しています。

タッチの育児支援プログラムは、母親のストレスケアの為に「ヨーガセラピー」、発達心理学を「子育ての心理学」そして『タッチ・コミュニケーションの実践』と、タッチ・コミュニケーション®をトータルに学びます。

更に、子どもの自己肯定感を育み、ストレスに強い子どもを育てることを目指します。タッチのプログラムでレジリエンス(逆境力)な次世代を育てていきましょう。



広島市

特定非営利活動法人
子どもネットワーク可部

●問 合 TEL.082-815-1530
●実施場所 広島市安佐北区可部 4-10-8 3階

●ホームページ
<http://www.konetkabe.npo-jp.net/>



一度しかない子ども時代を大切に!

特定非営利活動法人子どもネットワーク可部は、「一度しかない子ども時代を大切に!」を合言葉に、乳児から中高生まですべての子ども達に、その年齢にふさわしい文化体験や、遊び体験を提供することにより、豊かな感性と心を育むことのできる地域社会作りをめざしています。

また子育て支援事業などの様々な活動を通じて、保護者や子どもに関わる大人たちのネットワーク作りも目指します。

プロの劇団やアーティストによる生の舞台上、良質な文化に触れることのできる鑑賞事業は、見る、聞く、感じるという感覚を豊かに育てます。

また、プレーパークやデイキャンプなどの遊び体験では、異年齢の子ども達が群れて遊ぶことで、他者との関わり方や、自分より小さな子ども達に対する思いやりの心を育みます。

その“すべての場所で”子どもたちの輝く笑顔に出会えます。

そんな子どもたちの笑顔と、先輩ママさんたちの温かい助言や、同年代のお母さんたちと悩みを共有していくことで、心をほぐし、ゆったりとした子育てを楽しんでもらえるよう願っています。



広島市

広島赤十字・原爆病院、広島大学病院小児病棟ボランティア えほんのつばさ

●実施場所 広島赤十字・原爆病院、広島大学病院



小児病棟で子育て支援とパパママ支援をしています♪

広島赤十字・原爆病院、広島大学病院の小児病棟で活動しています。
ここでは長期入院の子どもが多く、本なら幼稚園や小学校に通い友達と楽しく遊んでいる時期、辛く長い闘病生活を送る中で社会との隔たりを感じています。学校に適応しにくい、母子分離がうまくいかないなど、退院後の生活に不安を感じ、いろいろな問題を抱えることも少なくありません。

病院は単に治療の場だけではなく、子ども達にとって生活の場であり発育の場であるべきです。“少しでも前向きに治療が受けられる手助けができれば”という願いから、ベットのボランティア活動を始めました。あたりまえの楽しみを届けたいと、絵本の読み語り・紙芝居・季節の工作やヘルマンハープの音楽なども届けています。医療保育学会への参加等で最新の情報を取り入れ、子ども達に反映する啓発活動をし、機会を捉えて患者のおかれている現状を伝えています。難病の子ども達の Quality of Life を保障し、福祉、教育が届くよう、活動のすそ野を広げ、また家族の心に寄添う身近な相談役になるよう活動を続けています。

◇広島赤十字・原爆病院小児病棟デイルーム・クリーンルーム(第1・3火曜日14:00~16:00)

◇広島大学病院小児病棟プレイルーム(第4火曜日14:00~16:00)



広島市

NPO 法人 SPICA

- 問 合 TEL.082-894-8686
- 実施場所 (事務局)広島市安芸区瀬野町
- ホームページ
<http://npo-spica.com/>



「いのちの教室」いのちの大切さを伝えています

NPO 法人 SPICA は、人間と動物がより豊かに共生できる社会をめざして活動しています。

日本では現在、年間約10万頭の犬猫が処分されています。
広島県でも、たくさんの犬や猫が動物愛護センターに収容されています。
私たちの身近な家族である犬猫のこの状況を改善するためには、まず、私たち人間の意識をかえていかなければなりません。

「いのちの教室」という出前授業では、中学・高等学校などへ出向いて、犬猫を取り巻くさまざまな問題について生徒たちと一緒に考えています。

また、子育て支援センターやひろば、子育てサークルなどで、子育て世代の方たちを対象に、「家庭の中で、子ども達にどうやっていのちの大切さを伝えるか」についてお話しています。弱者への思いやりの心を育み、言葉を持たない動物にも優しく接する心を育てることで子ども達を取り巻く、いじめや自殺などの諸問題についても、解決の糸口を見いだせると考えています。

「いのちの教室」を受講した生徒たちと一緒に、動物愛護センターでの掃除や散歩などのボランティア活動を行ったり一般向けの動物愛護講演会の開催や、猫の里親募集なども行っています。



広島市

おや楽コミュニケーション 「こころとことば」

- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<http://oyaraku.com/>



親子の幸せを応援していきたい

◇親子のコミュニケーションを学ぶお話会や講演会（親業シニアインストラクター）
私自身、3人の子どもたちが0、2、4歳の時、子育てがしんどい、と思っていました。
子どもが泣くと自分も疲れる、子どもを怒って自己嫌悪・・・
そんな時、子どもとのコミュニケーションを学び、子育てがラクになり、心のゆとりも生まれました。

それから12年間、“親子の心がつながる言葉”について、講師としてお話をしています。

◇子育て相談（広島市、ますだ小児科にて）

親の悩みを聴き、「つらかったですね…」と思いに寄り添うと、涙を流される方も少なくありません。

溜め込んだ思いを吐き出せることは、親がラクになり、子どもに向き合うエネルギーを充電できます。子育てのしんどさも喜びも分かち合い、関わりについて一緒に考えています。

子どもたちは高校、大学生と大きくなりましたが、まだまだ親としては「成長中」です。

これからも、親子の幸せを応援していきたいと思います。

（写真～上：古民家でのお話会。左下：広島県教育委員会主催の研修会。右下：カウンセリングルームにて。）



広島市

おはなしかい いつか

- 実施場所 広島市佐伯区新宮苑 11-14
五日市公民館図書室
- ホームページ
http://www.ikuchan.or.jp/circle/hiroshimashi/saekiku/post_017.html



「いつか・どこかで」の想いをこめて

絵本は「大人が子どもに読んであげる本」という思いで、まずお母さんに絵本の楽しさを知ってもらいたいと、広島市佐伯区の五日市公民館図書室でおはなし会を始めました。
「とんとんとん ひげいじさ〜ん♪」で始まる会には、毎回5〜7組の親子さんが参加。書架から好きな絵本をみつけて読んでもらっています。

はっきりした絵・色使い、美しくリズムカルなことば、季節を感じられるものなどの絵本を選んで会を進めます。

少し大きくなって読んでもらいたい絵本は、毎月テーマごとに紹介して、その日に読んだ絵本と一緒に、ロビーに展示しています。

親子で絵本を楽しむときの、本選びの手がかりにしてもらえればと思っています。

終了後は、児童図書室でたくさんの絵本たちに触れることができ、その場でお気に入りの借りて帰ることができます。

また、お母さん同士の交流の場としても、とてもいい環境でおはなし会ができています。

「いつか・どこかで」の想いをこめて！

おはなしかい「いつか」





広島市

ためまっぷプロジェクト

- 問 合 TEL.080-7019-9688(清水)
- 実施場所 広島県域、全国
- ホームページ <http://www.tamemap.net>



スマホから地域へ・人とつながれる社会に…

地域には、多くの子育て支援・応援活動がありますが、その情報が届かずに参加できない親子がたくさんいます。そんな地域活動の情報の受け取りや発信をもっと簡単にできたら、もっと生活しやすい社会になると考え、情報を届けたい人と受け取りたい人をスムーズにつなげるための「みんなのまちの掲示板 ためまっぷ」プロジェクトを進めています。

一例に、子どもの時代に「親や学校の先生以外の大人と話をすること」で子どもがたくましくなるという調査結果(ベネッセ教育総合研究所)があります。私たちは、全国各地をまわり、たくさんの「学びを与えてくれる大人」が地域活動をしていることを知りました。子どもたちが、そんな大人と出会える機会を得て、学ぶべき時期に必要な学びに少しでも触れられる。「ためまっぷ」を活用することで、その機会が確実に増えていくことを実感しています。

「ためまっぷ」とは、「知っていたら行ったのに!」を解消する、世界初の住民発信型イベント掲示板アプリです。ダウンロードはもちろん、見るのも探すのも無料!子育てだけでなく、さまざまな分野のイベント情報をスマホで確認することができます。

【ためまっぷプロジェクト】

<https://www.facebook.com/tamemap>

<https://readyfor.jp/projects/tamemap>



広島市

お母さんシンガーソングライター
しまひろこ

- 実施場所 広島市、東広島市
- ホームページ <http://shimahiroko.amebaownd.com/>



ママの想いや家族への愛を伝えたい!

はじめまして!! 2人の子どものママをしながら、「世界のハッピーはお母さんのハッピーから」をテーマに音楽活動をしています。

昔から歌が好きで、歌を作り始めたのは大学生の頃からです。ただ、卒業後は就職し、結婚・出産。初めての子育てが始まってみると戸惑うことばかりで、小さな子どもと悪戦苦闘の日々には、自分の趣味も全くできませんでした。そうした時期を経て、子どもが幼稚園に入園し、わずかに持った久しぶりの自分の時間に「もう一度、歌をやりたい!」って、心から思い、活動が始まりました。

歌のテーマは「子育て中のママの想いや、家族への愛」。子育て中は、ママもパパも色々な悩みや感情と格闘しながら、子ども達のために本当に頑張っていますよね。

時に孤立してしまいがちな子育てですが、歌を通じて心の交流の輪が広がればいいなと思っています。歌を聞いてくれた人が、ホッとしたり温かい気持ちになり、“子育てって、大変だけど、やっぱりいいよね、また頑張ろう!”と、ほんの少しでも前向きな気持ちになってもらえたら本当に嬉しいです(そして私自身も元気に・笑)。

お母さん向けコンサートや、子育て支援センターなどへの訪問ライブ、地域のイベントへもゲスト出演。イクちゃんサービス公式ブロガーとしても活動中です。

写真下: 呉市すこやか子育て支援センター「くれくれ・ば」での訪問ライブ



広島市

Bavard ☆ 6

- 実施場所 広島市近郊・三原市等
- ホームページ
<http://ameblo.jp/katari-bit/>
(代表者ブログ)



笑顔で元気になれる「場」を作っていきます!!

「子育てには正解が無い!」「子育ては、適当が一番!」と気づくのが、私は遅かった。子どもを授かって、嬉しい反面「24時間まるまる自分の時間じゃないんだ〜」と、愕然としたのを今でも覚えている。徐々に、100%自分のペースで自分のやりたい事が出来ない事を受け入れ、いい意味で諦めがついて、俄然子育てが楽しくなった♪

幼い頃から人を笑わせるお調子者だった私には、母親が笑顔で過ごしていると、子どももパートナーも笑顔になり家庭円満になる。更には、世の中全体が明るくなる・・・という勝手な持論がある。

家族のためだけに全身全霊捧げるのではなく、まずはじぶんを大切にし適度なご褒美をあげる事も必要で、そこに罪悪感を感じないで欲しい!とママさん対象のイベントや、子育てを終えた大人女子が笑顔で元気になれる“場”を、「オトナの手習い講座」として不定期で企画し開催しています。

ストレッチ講座や読み聞かせ講座、耳つぼ講座やポーセラーツ、手作り小物作り・・・体験だけでなく、講師の方や参加者同士の知恵の伝授も含め、主婦が自由に使える範囲内で(ここも重要)、皆さんが少しでも笑顔で元気になってもらえる「場」をこれからも作っていきたくと思っています。



広島市

だんばらランランキッズ

- 実施場所 広島市南区段原2丁目11-18
段原西集会所



自由に楽しく交流を!!

「だんばらランランキッズ」は、段原地区民生委員児童福祉部6名が主になって運営しているオープンスペースです。毎月第2金曜日の10:00~12:00に段原西集会所で開催しています。

核家族化が進む中、乳幼児と保護者との親子遊びなどで自由に楽しい一時を過ごしてもらい、参加者同士の交流を深めてもらえるように、私たちは見守りながら、黒子としてサポートしています。

初めてで不安そうな親子さんが、少しずつその場で笑顔が増えていく様子に、メンバーも喜びを感じています。

そして、子どもさんの成長を保護者の方と一緒に感じ、たのしく嬉しく思います。

年間5回、区の子育て支援センターの出張ひろばが開催されます。

また、毎月の誕生月の子どもの写真を撮り、誕生カードをつくってお渡ししています。

12月はクリスマス会をし、サンタクロースさんにプレゼントを渡してもらおうなど、楽しい時間をすごしてもらいます。



広島市

一般社団法人 パパフレンド協会

- 問 合 TEL.082-503-5589
- 実施場所 事務局:広島市西区観音新町1丁目 18-9
第二菱興ビル5F ヒロゾーコム内
- ホームページ
<http://papafriend.jp/>



父親啓発活動の中でパパ達も一緒に子育てを楽しめる場を提供!

「パパフレンド協会」は2015年4月1日に発足した父親支援団体です。
『父親の子育て』をキーワードに老若男女が集まり、つながれる場づくりを意識して活動しています。
代表が専業主夫として、自ら男性育児を行ってきました。
父親が育児に参画することで、家庭内はうまく回っていくと思います。
また、子どもと向き合える時間をつくることができ、人生も充実すると思います。
しかし、子育てに充実してくると、パパは父親同士で育児の情報交換が出来る場を求めようになります。
現在、父親の啓発という面は、行政・団体等様々な所で行われていますが、その後の父親同士が繋がる環境づくりがまだまだ不十分であると感じています。パパフレンド協会は、パパサークルを運営することで、啓発と共に、その後のパパ達の受け皿となる組織体制を目指しています。
パパフレンド協会の“Friend”には、「友だち」や「仲間」以外にも「後援者」や「支援者」という意味合いがあります。
子育て中のパパママだけでなく、学生、シニア世代、行政、企業と様々な立場の方に参画いただくと幸いです。



広島市

特定非営利活動法人 チルドリンひろしま

- 問 合 TEL.082-573-1166(湊)
- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<https://www.facebook.com/childrin.hiroshima/>



ひろしまを笑顔の女性でいっぱいのに街に

私たちは、女性を取り巻く多様な環境・人間関係をよりよくする為のサポートと自発的なコミュニケーション活動のサポートに関する事業を行い、女性が生き・育て・活躍しやすい社会の実現を目指しています。
2014年からは“ママまつり”と言うイベントを定期開催したり、女性の持つ力を社会で生かすための橋渡しをする場所として、また、一步を踏み出す時・相談したい時・改善やステップアップしたい時の安心出来る場所として、「いつもある場所」の存在になるために活動しています。
働きたい、社会とつながりたいと思いが、不安から、具体的な行動にうつせぬ女性をサポートするなかで、一歩ずつ動き出す時をそばで応援させていただけることは本当にありがたいなあ~と思っています。
まずは動き出すことで見える世界はきっと変わりますから。
そして、動き出してみても何か迷うことがあれば、またいつでもお話を聞きながら、自分らしく進んでいけるよう寄り添っていきたくと思っています。
ひろしまが、笑顔の女性でいっぱいのに街になればいいですね!



広島市

「ママのためのがん検診講座」 ピンクリボンアドバイザー 平野清子さん

- 問 合 TEL.082-502-1616
- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<http://g-town.co.jp/kouken/index.html>



ママが元気であることのために

あなたは、がん検診を受けていますか？

“がん”は高齢者の病気と思われがちですが、子宮頸がんは20歳代から患者が急増して、ピークは30～40歳代、乳がんは30歳代から患者が増え始め、ピークは40歳代後半と比較的若い方にも多くみられる病気です。ちょうど子育てや仕事で忙しい世代でもあり、ついつい自分のことは後回しにしがちな世代です。

また、万が一入院になったら子どもはどこに預ければいいか、家事はどうすればいいかなどを考えるとがん検診に行けないなどの声を耳にすることがあります。

しかし、子どもにとっても一番嬉しいのは、ママが元気であること！万が一病気が見つかったもしっかり治療をして元気になって戻ってくることなのです。

私の子育て応援・子育て支援は、自身の“がん”の経験から、ママたちに病気のことや検診のメリット・デメリットについて知ってもらう「ママのためのがん検診講座」を通して、自分にとって必要ながん検診を受けるよう背中を押すことだと思っています。

自分のためだけでなく、子どものためにもがん検診を受け、またそのことを子どもたちの世代にも伝えてもらいたいという想いで日々活動しております。

「ママのためのがん検診講座」の他、高校などで、10代への啓発にも取り組んでいます。



広島市

広島の助産師グループ マザーリング・くらぶ

- 実施場所 広島市中区住吉町 5-7
広島療院2階
- ホームページ
<http://www.mother-ring.jp/>



助産師で結成！産後のきめ細やかなケアを

平成15年3月に結成された広島の助産師グループです。

助産師ならではのパパママセミナーを広島市健康科学館で年間8回開催しています。プレパパ・プレママにお産や育児のことをわかりやすくお伝えするよう工夫を凝らしています。リアルなお産劇があるセミナーとして好評です。

パパには育児を手伝ってもらうのではなく、父親としての育児参加をするということをお勧めしています。

その他、現在は中区、広島療院のセミナールームで、わらべうたベビーマッサージ、ママと赤ちゃんの3B体操、離乳食のスタート、おっぱいのゴール、母と子の家庭での性教育、更（幸）年期を考える！、里帰り出産の心得（グランマスクール）など多彩な講座を設けています。育児中のお友達作りを促し、孤独な子育てにならない様お手伝いしています。また同施設の宿泊施設では、平成27年12月から広島市産後ケア事業の委託を受け、産後ケア（デイケアのみ）を実施しています。

産後心も体も不安定になりがちな女性に経験豊富な助産師がきめ細やかなケアをご提供いたします。

マザーリング・くらぶのメンバーはそれぞれ、小学校でのいのちの授業や、中学校高校での性教育、公民館での講演活動など行っており、今後も助産師の専門性を活かしていきたいと考えています。



広島市

ライフアドベンチャー

- 問 合 TEL.090-9465-9797(井上)
- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<https://www.facebook.com/lifeadventure.hiroshima/>



オトナとコドモの成長を同時に実現する場作り

逆境に弱い子や何事にも無関心な子が多くなりました。将来、子どもたちが幸せに生きていくために必要な力とは？今、大人はどのように育てればいいのか？

私たちは、10年後20年後がどのような社会になっているかを予想できません。それほど世界の動きは急激だといえます。今までの価値観や、現在信じていることがいつまでも正しいとは誰にも断言できなくなりました。

だからこそ、子どもたちには将来どのような社会になっても生き抜いていける知恵を身に着けてほしいと思うのです。

その生き抜く力を育むためにライフアドベンチャーを作りました。

子どもには、“失敗体験”“自分で考える力”“コミュニケーション力”などなど…8つの能力と14の力を育てていきます。家族関係の変化や地域の崩壊もあり、今の時代に大人にも子どもにも必要なもの…それは第3の居場所です(心のよりどころ)

ライフアドベンチャー【IBASHO】は、考えて体験することで生き抜いていくチカラを磨き、オトナとコドモの成長を同時に実現できる場を作っています。

・写真左下:子どもシェフによる第1回ギョウザキング決定戦!

目の前の食材だけでギョーザ作っちゃうぜ! 2016/2/28

・写真右下:第3回ポランピカ〜街をピカピカに綺麗にしよう!〜 2015/12/13



広島市

ママ楽サポート

- 問 合 TEL.082-942-0545
- 実施場所 広島市西区古江西町5-24-104
- ホームページ
<http://www.mamaraku-support.com/index.php>



家族のみんなが笑顔に!ママの"楽"と"楽しい"をサポート

子育ては長期戦!

しかも、予想外の連続であり、思い通りにはならず、日常がうまく回らなくなってしまうこともあります。

でも、どんな時でも、子育てママには余裕を持って笑顔でいてほしいですね。

ママ楽サポートは、忙しいママに家事支援というカタチで寄り添っていきたく、と考えています。自分でできる時は自分でする、けれど、忙しい時や体調が優れないときは誰かに手伝ってもらおうという、自分以外の選択肢を持つことは心の余裕を生むことにもつながり、子育てを楽しんでいくコツだと思います。

完璧、100点満点を目指さなくてもいいのです。

60点でも70点でも家族が気持ちよく暮らせること、これを目指していけばいいのではないのでしょうか。

ママの“楽”と“楽しい”で家族の皆さんが笑顔になれば最高です。

「自分の家庭にとって快適なラインを知る」という事を大切に、子育て家庭をサポートしていきたいと思っています。



広島市

広島アレルギーっこの会 キラ☆キラ

- 問 合 TEL.082-877-2146(支援センター)
- 実施場所 広島市安佐南区中須一丁目38番13号
地域子育て支援センター
- ホームページ
<http://ameblo.jp/kirakira-hiroshima>



アレルギーっこと家族の楽しい毎日を応援したい!

食物アレルギーをもつ子どもの割合は近年増加していますが、実際に周りのお友だちで同じ悩みをもつ人に出会う事はなかなか無いように思います。

専門病院ってどこにあるの?毎日の食事作り、どうしよう?!、外食したいけど、アレルギー対応してくれるお店ってどこにあるのかなあ…気がかりなことがたくさんある食物アレルギーです。

「広島食物アレルギーっこの会 キラ☆キラ」には、日々の悩みや疑問を気軽に聞ける仲間がいます。アレルギー講演会や、料理教室の情報などもみんなからどんどん集まってきます。クッキングやクリスマス会などのイベントもあります。アレルギー対応のおやつやお弁当を前に、子どもたちは「これ、全部食べられるの?」と、とても嬉しそう!!そんな子どもたちの言葉や笑顔に大人も元気をもらえます。

“アレルギーっ子と家族の楽しい毎日を応援していきたい”

そんな思いで活動しています。ゆっくり焦らず、上手に頑張りすぎず付き合っていくヒントが見つかるといいな。お子様連れOK。保護者のみOK。食物アレルギーに関心のある方、お待ちしております。一度、見学にいらしてくださいね。



広島市

一般社団法人 孫育て検定協会

- 問 合 TEL.090-8994-8074
- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<http://magosodate-kentei.jp/>



育児を通して多世代の交流を

社会全体で子育てを応援する仕組み作りと、育児を通して多世代の交流が盛んになり、子どもたちが健やかに育つ社会を築いていながら、子育てに関する知識を深めることを目的とし、「孫育て講座」「孫育て検定®」を実施しています。当法人は、子育て・孫育て活動を通して、少子高齢化社会の様々な課題を解決することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行い社会全体で子育てを支援します。

- 子育て・孫育て支援イベントの企画運営事業
- 孫育て検定事業
- 子育て・孫育て支援出版・情報発信・コンテンツ制作事業

◇孫育て講座◇公民館や市民センター等と協働で1~3回シリーズの孫育て講座を開催。平成23年から開始して現在までに100回を超えています。対象は祖父母世代・子育て世代

◇地域作り講演◇「子育て・孫育て始める地域デビュー」をテーマに広島県各地の自治体からの依頼により、地域全体の子育て土壌育成の為の啓発講演

◇研修会・ワークショップ◇祖父母デビュー研修、イクジイ研修、幼稚園・保育園職員研修、子育て支援リーダー研修、子育てボランティア入門講座、男性も子育て「男女共同参画研修」、男女共同参画意識に基づく避難所作りワークショップ、ボランティア入門講座

◇子ども遊び塾◇子ども遊びの城の作り方、子どもにぜったいにウケる遊び術、子どもと遊ぶ

◇孫育て検定◇全国を対象にして3時間の孫育て検定【商標登録済】を要望に対応して開催しています。



広島市

「子育てママパパのための
エスキーテニス体験会」

広島県エスキーテニス連盟

- 問 合 TEL.082-251-1436(宇野本)
- 実施場所 事務局:広島市南区出島2丁目10-18
- ホームページ
<http://www.esci.jp/>



広島市

広島きらきら母交響楽団

- 実施場所 広島市近郊
- ホームページ
<http://kirakyo.web.fc2.com/>



子育てママパパに気軽に運動を楽しんでもらいたい!

広島生まれのユニークなテニス型スポーツ「エスキーテニス」は、誰もが初心者。スタートラインはみなさん一緒なので、気軽にプレイできます。

「子育てママパパのためのエスキーテニス体験会」は、子育てオープンスペースなどの子育て支援活動団体と連携し、子育てママパパを対象に定期的に体験会を開催し、日ごろの運動不足を解消し、子どもたちと一緒に、気軽にエスキーテニスを楽しんでもらう活動です。子どもたちは、コート近くで連携団体スタッフとブロックやシャボン玉などで遊んでいるので、安心してエスキーテニスを楽しめます。

「チームを作って大会に出たい!」「子どもが幼稚園に入ったら本格的にやりたい!」「パパも一緒に家族でやりたい!」などの声を頂いたとき、やってよかった!!と思います。

たくさんの子育て世代のママパパに、エスキーテニスの楽しさを知っていただき、高校生・大学生からシニア世代まで幅広い年齢層の愛好者との世代を超えた交流の場にもなってほしいと考えています。

さあ、あなたもエスキーテニスを始めてみませんか?



大好きな音楽を子どもと一緒に体感♪

私たち広島きらきら母交響楽団(通称:広島きら響)は、子連れOKの、主に子育て中のママたちによる「オーケストラ」&「アンサンブル」の会です。

2007年秋に活動を始めました。メンバーは、経験年齢性別不問。現在約70人の仲間で音楽活動を楽しんでいます。

オーケストラとしては年間2~3回舞台に立ち、アンサンブルでの舞台も年間20回ほどあります。いつも練習場の同じ部屋に子どもたちがいて、それぞれが様子を見ながら練習しています。また、プレママからベテランママまで、様々なママさんが集っていますので、子育ての悩みごと相談や情報交換もでき、「助かる～」という声も聞こえます。大好きな音楽を子どもと体感できるのも魅力の一つです!

子連れで練習を重ねて自主公演も行うオーケストラは、全国でもとても珍しい存在です。子育て中の親が輝いている姿を、子どもたちや地域のみなさんとシェアすることにより、子育てしやすい社会づくりの一端を担えればと思っています。



広島市

広島中央保健生活協同組合

- 問 合 TEL.082-532-1264(担当:田邊)
- 実施場所 広島市西区観音町 16-19
- ホームページ
<http://www.hch.coop/>



心に余裕を持った子育てに・・・

広島中央保健生協は、保健・医療・福祉の事業と運動を通じ、地域の方々や生協の組合員と一緒に「健康で安心して暮らせる社会づくり」に取り組んでいます。

働きながら子育てをされている方々の期待を受け、2015年11月には「生協小児科ひろしま」の移転とあわせて病児保育室「かがる〜む」を開設いたしました。

また、子育て支援の催しの他、誰もが気軽に利用できる子育て広場として「コープのびのびクラブ」を開催しています。のびのびクラブと小児科の連携により、小児科の患者様も多数、広場をご利用いただいています。

広場開催中は、地域の民主団体などから支援を頂きながらリズム遊びや工作、健康講座など魅力たっぷりの「ミニ企画」を開催しています。また、院内保育園の保育士1名が常駐し、安心して遊べる環境づくりや、子育ての相談にのっている場面もあります。スタッフと利用者の距離が近く、地域の子育て世代にとっての「居場所」となっています。子育て中の方とお友だちになりたい方・子育ての情報交換をしたい方、子どもさんと安心して遊べる場所をお探しの方などどなたでも参加可能です。お気軽に遊びに来てください♪

～コープのびのびクラブのご案内～

日時：毎週水曜日 10時～12時（第5週はお休み）

場所：生協けんこうプラザ 5階（広島市西区観音町 16-19）

お問合せ：広島中央保健生協 組織部 082-532-1264



広島市

広島県ユニセフ協会

- 問 合 TEL.082-231-8855
- 実施場所（事務局）広島市中区本川町 2-6-11
第7ウエノヤビル 5F
- ホームページ
<http://www.unicef-hiroshima.jp/>



子どもたちが健康に幸せに育ってほしいという思いを共有したい

ユニセフは、世界150以上の国と地域で子どもたちの保健・栄養・水と衛生などの支援を行なう国連機関のひとつです。現在、年間約550万人の子どもたちが5歳の誕生日を迎えることなく命を失っています。また自然災害や紛争に巻き込まれるなど、たいへん厳しい環境で暮らす子どもたちが世界にはたくさんいます。

わたしたちはここ広島で、そのような世界の子どもたちの現状を皆さんに広く知っていただくと共に、ユニセフの活動を支援する任意のボランティア団体です。

パネル展、学習会、学校への出前講座、募金活動、イベントなど、誰でも気軽に楽しく参加できる活動を行っています。

世界のどこに生まれても子どもたちには健康に、また幸せに育ってほしいという思いをみなさんと共有したいと思っています。

<手洗いダンス(写真左下)>

幼稚園や保育園などを訪問し、みんなで楽しくダンスをしながら、正しい手洗いの仕方を覚えてもらっています。

「家に帰って家族のみんなに教えてあげる」という子どもたちもいますよ。

また、きれいで安全な水を使えない子どもたちが世界にはたくさんいることを知ってもらい、「水を大切にしようね」というお話もします。



広島市

広島友の会

- 問 合 TEL.082-228-5546(代表)
- 実施場所 広島市東区牛田東3丁目22-19
- ホームページ
<http://htomonokai.sakura.ne.jp/>



親子が笑顔で過ごせるヒントを見つけたい

全国友の会は、1930年(昭和5年) ジャーナリストで教育者の羽仁もと子を中心に「婦人之友」の読者によって創立され、今年は87年目を歩んでいます。国内・国外合わせて187か所にあり、広島友の会は、そのうちの一つです。広島での子育て支援活動としては、月に1回、各地の公民館で、「乳幼児とお母さんお父さんの集まり(名称はさまざまです)」を行っています。また、友の家では「ことりぐみ」の名称で月に1回、就園前幼児の集まり(第1木曜日〈変更あり〉)を行っています。どちらも、「おさなごを発見せよ」(著 羽仁もと子)を読書して、よい生活を学び合います。おさない子どもの「みずから生きる力」を信じ、大人はそれをどう引き出したらよいかを考え合い、笑顔で過ごせるヒントを一つでも多く見つけたいと願って活動しています。

活動地域: 広島市、廿日市市、東広島市、安芸郡

詳しくは『広島友の会』ホームページ <http://htomonokai.sakura.ne.jp/>、または、6歳以下の子ども達の生活・教育について一緒に考えていくことを目的としたWEBサイト『こそだての樹』をご覧ください。



広島市

広島文教女子大学 パパママ応援団ぶんこ

- 問 合 TEL.082-814-2135(内線 352)
- 実施場所 広島市安佐北区可部東 1-2-1
- ホームページ
<http://www.h-bunkyo.ac.jp/bunko/top.html>



私たち学生がパパママを応援します

私達は広島文教女子大学、パパママ応援団ぶんこです。自主ゼミとして月1回、大学内にある文教ホールまたはサイコラボという部屋でおおむね4歳までのお子さんを対象にぶんこ広場というオープンスペースを開いています。私たち学生が主体となって毎回の広場を行っており、広場が終わったあとには毎回反省会をするなどをして、さらにいい広場になるように頑張っています。

毎回の広場で出会う子どもたちに楽しんでもらえることがとても嬉しく、やりがいに繋がっています。また、子ども達だけではなく、保護者の方々にも普段は家で出来ないような仕事や読書をするなど子どもから目を離して自分の時間を持つことができるなど保護者の方々にも利用してよかった、また利用したいなど思ってもらえるような広場でありたいと思います。私達の活動はこのぶんこ広場だけではなく、不定期ではありますが三入公民館やすずらん広場での出張ぶんこも行っています。

上記 URL または「広島文教女子大学 ぶんこ」で検索してみてください！
スタッフ一同心よりお待ちしております！



広島市

特定非営利活動法人
子どもコミュニティネットひろしま
子育てひろば「ころろ」

- 問 合 TEL.082-231-8015
- 実施場所 広島市西区横川町2丁目3-1
川崎ビル3F
- ホームページ
<http://kororo.kodomo-net.jp/>



地域の中のほっとする居場所に

子育てひろば「ころろ」は、2013年7月に広島市公募型常設オープンスペースとして横川に誕生しました。

乳幼児親子がゆったり遊んだりおしゃべりをして過ごせる場所、その中で、親同士の交流が自然に生まれ、いろいろな気づきを積み重ね、自分の子育てに自信を持てる、そんな場所のひとつになることを目指しています。

ひろばでは、ベテランスタッフによる「わらべうた」や絵本の紹介、手作りおもちゃ作りなどを行っています。何より大切にしているのは、現役ママ、パパたちの出番作りです。それぞれのスキルを生かした講座（ママストレッチ・リンパエステ etc）を定期的で開催したり、そんなメンバーが集まったフリーマーケット（ゆうりり雑貨マーケット）を実施したりしています。

また地域の図書館や公民館への出張講座・商店街との連携などを行いながら「ころろ」の存在をもっとたくさんの人に知ってもらい「地域の中のほっとする居場所」として様々な人が訪れる場所にしていくことを目指しています。



広島市

子育てサークル
はに～きっず

- 実施場所 広島市佐伯区八幡 2-3-1
八幡児童館内
- ホームページ
http://www.ikuchan.or.jp/circle/hiroshimashi/saekiku/post_143.html



子どもを通した素敵な出会いが待ってますよ

0歳～4歳までの未就園児のお子さんとそのママたちとで、季節のあそびを通して情報交換や育児の悩みごとを話したりする場所になればいいなと思っています。

指導者がいるわけではないので、準備などは自分たちでしなければいけませんが一ひとりの負担にならないように、皆で分担して行っています。

子どもと一緒に“何か”するという時間はあっという間です。

たくさんたくさん、一緒に思い出をつくって、子育てを楽しんでください。

ぜったい一人で悩まないでくださいね。

子どもを通して素敵な出会いが待っていますよ。



広島市

子育て支援サークル 「ひまわり一む」

- 問 合 TEL.082-877-2677(古市公民館)
- 実施場所 広島市安佐南区古市 3-24-8
古市公民館内
- ホームページ
[http://www.ikuchan.or.jp/circle/
hiroshimashi/asaminamiku/post_053.html](http://www.ikuchan.or.jp/circle/hiroshimashi/asaminamiku/post_053.html)



子どもも大人もみんなで楽しむ場に

私たち「ひまわり一む」は、2001年7月から活動しているボランティアグループです。スタッフの多くはおばあちゃん世代。

孫と関わるように、毎回楽しんで活動しています。

主な活動として、毎月第3金曜日、古市公民館にてオープンスペースを開催しています。ここでは、体を使った遊びを中心に、季節の行事の工作や絵本の読み聞かせ、手遊びなどをして親子で一緒に過ごします。

また、第2金曜日は大町児童館で開催しています。赤ちゃんもゆったり遊べます。今年から、原則偶数月の第1日曜日(10:00～15:00)に古市公民館で“木育「おもちゃの広場」”を開催します。赤ちゃんの部屋、3歳児までの部屋、ふれあいの部屋、おもちゃの部屋、工作の部屋を設定しています。

ルールを守りながら、自由に遊んだり作ったりできる広場です。子どもだけでなく大人も楽しめる場になっていますよ。覗いてみてくださいね!!



広島市

認定NPO法人 日本グッド・トイ委員会 「おもちゃの広場」

- 問 合 TEL.090-7920-7450(大仁)
- 実施場所 主に広島市
- ホームページ
<http://goodtoy.org/>



出会い・ふれあい・育ちあう遊びの場です

●おもちゃの広場…「おもちゃの広場」は、大人も子どもも誰もが気軽に集う「子育てサロン」を地域に開くことを目的に2004年にスタートしました。全国にいるおもちゃコンサルタントが、日本グッド・トイ認定のグッド・トイを利用し、地域の親子に世界のおもちゃの魅力を伝え、手作りおもちゃの体験会なども行っています。2015年は、北海道から沖縄まで210か所以上「おもちゃの広場」が開催されています。出会い・ふれあい・育ちあう遊びの場として、お父さんもお母さんもおもちゃでコミュニケーションを楽しむ場として定着してきました。私は夫の転勤のため、横浜市で3年間、大分市で6年間月1回のペースで「おもちゃの広場」を開催してきましたが広島市に引っ越してきてからは小学校や企業・団体・子育てサークルの依頼に応えるかたちで活動しております。

●木育ひろば…林野庁補助事業である木育活動をしています。国産の木でできたおもちゃ16点と木育の本などを貰い受け、木育の意義や木のおもちゃの活用について伝えるために木育寺子屋、木育広場を開催。エコとは違って、木について今までと違う視点で考えてみることになり新しい感覚でおもちゃや子どもの遊びを通して森について考えてもらう良いきっかけになります。

◇おもちゃの広場をとおして…おもちゃは子守をしてくれるものではなく、コミュニケーションツールとしておもちゃがあるのだということと、子どもにとってはお父さん・お母さんが一緒に遊んでくれるものが一番のグッドトイなのだということが伝わればいいなと活動しています。



広島市

子育て支援サークル げんき発信隊

- 実施場所 広島市中区西白島町 24-36
広島市中央公民館内
- ホームページ
<http://www.h2.dion.ne.jp/~days0123/>



合言葉は「子育てはみんなですからおもしろい」

げんき発信隊は、「子育てはみんなですからおもしろい」を合言葉に、子育てに奮闘しているみなさんに、元気の素を届けたいと1998年に「子育てオープンスペース0123のぼりまち」を立ち上げました。「0123のぼりまち」は、乳幼児の親子が時間内なら申し込み無しで、誰でも自由に入出入りできる場所です。

私たちスタッフは、人と人とのつながりが楽しめ、安心して参加できるような雰囲気作りを心がけています。

<子育てオープンスペース 0123 のぼりまち>

- ・日時/毎月第1・3 金曜日 10:00 ~ 13:30
- ・場所/広島市中央公民館 3階 大集会室、ロビー、バルコニー
- ・内容/遊びスペース、情報・交流(10円カフェ、リサイクル品交換)スペース

近所のちょっと先輩ママたちが、後輩ママたちに寄り添いながら気軽に支える、「しょうがないな」と笑いながら手伝ってくれる人が周囲にいる、そういう場やつながりができれば、子育てはもっともっと楽しくなるはずです。

「子どもがいるからできない。」なんて言わないで。親の私たちにもいろんな可能性がいっぱいです。子どもがいるからできること、子どもと一緒に楽しめること、そして、これからの自分の夢や希望…。

みんなできいっしょに探していきたいと思います。



広島市

子育て・サークル応援グループ MaMa ぽっけ

- 問 合 TEL.082-831-5011
(安佐南区社会福祉協議会)
- 実施場所 広島市安佐南区社会福祉協議会
広島市安佐南区中須 1-38-13
- ホームページ
<http://mamapokke.cho88.com/>



ママ友感覚でサポートしています♪

MaMa ぽっけは、子育てサークル出身の母親を中心に、自分たちの経験を活かし、子育てサークルのおもしろさや、子育て仲間のすばらしさを伝えていこう!というボランティアグループです。

主な活動として・・・

- *年に4回、活動の紹介やサークルの運営のヒントを掲載している“子育てサークル通信”の発行
- *区内子育てサークルの紹介や、あそびネタなどサークル運営の相談の場“あそびネタサロン”の開催
- *サークル活動がより楽しくなりますように願って実施している“おもちゃなどの貸出”
- *サークルさん同士の交流の場の提供“子育てサークル交流会”の開催・・・です。

私たちは、活動をとおして、「どうやったら楽しい活動がみんなのできるかな?」と、みんなで考えていく中で母親同士のつながりを深め、その中でお互いの子どもの成長を感じ、だんだんと自信にあふれていくお母さんたちに出会います。それは、私たちにとってうれしい瞬間です。私たち MaMa ぽっけメンバーもふつうの母親たちなので、特別なことはできませんが、これからもふつうのお母さんだからこそできる子育て応援のカタチを大切にしていきたいです。

写真は、平成26年度子育てサークル交流会「あそびの紹介」「情報交換タイム」より



広島市

常設オープンスペース すずらんひろば高陽

- 問 合 TEL.082-516-5353
- 実施場所 広島市安佐北区亀崎 1-2-4
高陽タウンセンタビル地下1F
- ホームページ
<http://www.h-bunkyo.ac.jp/suzuranhiroba/top.html>



「ほっと一息」ついてね

すずらんひろば高陽は
「のんびり、ゆったり、わきあいあい」「見守り合い、支え合い、育ちあい」
2つをモットーに、お子様と保護者のみなさまにほっと一息していただくひろばです。

【すずらんひろば高陽】はこんなところ

- ◇月曜日から金曜日(10:00~15:00)オープンです。
- ◇子育て中の親が、ほっと一息ついて、お茶を飲んだりおしゃべりしたり、自分の時間をもてる場所です。
- ◇親同士の出会い、交流、情報交換の場です。
- ◇時々、楽しいイベントがあります。
- ◇ランチタイム(11:30~13:00)があります。
- ◇ひろばスタッフはいつでも何でも相談にのります。
- ◇月2回、保健師による身体測定・健康相談(10:00~14:30)があります。
- ◇広島文教女子大学 子育て支援学生グループ「パパママ応援団ぶんこ」のお姉さんたちがあそびに来てくれる「すずらん DE ぶんこ」の日があります。

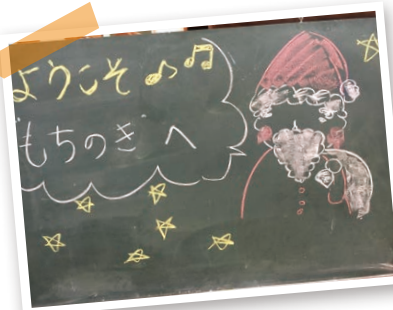


広島市

実りの部屋プロジェクト

(若者活動サポートセンターあおぞら内)

- 問 合 TEL.082-562-2451
(若者活動サポートセンターあおぞら)
- 実施場所 広島市安佐北区可部 4-10-8
- ホームページ
<http://www17.plala.or.jp/aozorawakamono/index.html>



子ども達の中に眠るたくさんの「できる」を引き出し自信を育みたい!

このプロジェクトは、「広島市ひとり親家庭等居場所づくり事業」の補助を受け運営している「もちのき」という居場所のほかに、他者とのかわりの中で自らの知見や価値観を広げる活動や、「学ぶことが自然と楽しいと思える」学習機会の創造を考えています。これまで小学生4年生から6年生を対象に、机で教科の学習に取り組むことはもちろん、農業体験やプレーパークに参加したりパズルや工作に取り組んだりしました。学校で教わる教科内容の支援と教科に縛られず自由な発想や学びの支援の両輪が必要だと、わたしたちは強く感じています。教科内容がしっかり身につくと入試を突破し進みたい進路を実現することができ、自由な学びの中で発想力や自分の魅力を築いていると自分の進みたい進路を見つけることができます。

「実りの部屋」プロジェクトでの学びを通して、子どもたちが自らの人生を切り開いていく力を身につけられればと思います。子どもたちの中に眠るたくさんの「できる」を引き出しながら、自信を育んでいく。そうすることで、少しずつでも自信を持って自分の人生を歩んでいくことのできる子どもたちが増える。そんな未来を描きながら、子どもたちにとってより良い学びの場ができる努力をしておりますので、ぜひ一度見学にお越しください!



広島市

特定非営利活動法人 CAP 広島

- 問 合 TEL.082-546-2903
(火・木 10:00 ~ 15:00)
- 実施場所 広島県域
- ホームページ
<http://www.cap-hiroshima.org/>



一緒に考えましょう!

子どもが暴力の被害者になったり、加害者になったりする事件が頻発しています。私たちは、暴力を「人の心とからだを傷つける(権利を奪うこと)」ととらえ、「安心して、自信をもって、自由に行動する権利」をキーワードに、子ども自身が暴力から身を守るために何ができるか一緒に考える年齢に応じたプログラムを提供しています。

幼稚園、保育園では、歌やジェスチャー、人形劇を使うので、暴力防止の話なのに、子どもたちはみんな楽しそうに参加してくれます。

大切な権利を奪われそうになったら、NO(嫌という)GO(離れる、逃げる)TELL(話す、相談する、助けを求める)という選択肢があることを伝え、他に何ができるかをたずねると、子どもたちは「知らん顔する」「友達力になってあげる」「困った時は助けてと言う」等いろいろな考えを話してくれます。

おとなワークショップでは、「子どもたちが安心して自信を持って自由に生きる」ために、おとなができることを考えます。

どうぞ、活動について知りたい方は、いつでもご連絡ください。



広島市

森のようちえん まめとっこ

- 実施場所 広島市安佐南区、西区
- ホームページ
<http://mametokko.exblog.jp/>



自然の中で「子どもの育ちを待つ・見守る子育て、親育ち」を一緒にしてみませんか

広島市安佐南区・西区の森、里山での戸外活動を中心とした共同保育グループです。親子組(週1回、未就園児親子対象)とようちえん(月曜~木曜日の週4日)があります。やさしくも厳しい「自然」の中で、「子どものよりよく育とうとする力を信じて、待つ♪」。

「ダメ、危ない、汚い、はやく」などを大人が必要以上に言わないことで、子どもは自らの力で考え、育つ力を発揮し、ありのままの自分で仲間に向き合えるようになっていきます。『森の中では子どもが自由に遊んで心が解放され、その子が普段見せないありのままの姿に出会う事がある。』

そして日常の喧騒から離れた大人もゆったりした気持ちになるので、子どもにも寛容になれる時間が持てます。』(保護者談)

「自然」はエアコンのように人間の都合では調整できません。

その不自由で危険そうな場所に子どもを思い切って解き放つことで、強くなやかな心身が育つ事に繋がっているように思います。

そして大人は、「あたたかい空気での育ちを見守り、それを手助けする♪」こと。お互いの子どもを見守り合い、大人同士も信じて待つことで信頼関係を築いていき、大人自らも育つ場となっています。

ぜひ一度遊びに来てください♪



広島市

アウトドアコミュニティ ハンター×キッズ

- 問 合 TEL.080-3891-0102(青木)
- 実施場所 広島県内
- ホームページ
<https://oyakotaiken-hunterkids.jimdo.com/>



～親と子が本気で楽しみ、つながり、成長できるコミュニティを目指して～

ハンター×キッズは、田舎・自然体験活動を通して親子・親同士・子供同士の交流を深めるとともに、子育てに関わる悩みや体験談などを話し合う場を提供することを目的として活動しています。

☆こんなファミリーにおススメ☆

- ・自然体験(キャンプやBBQ)が好き、もしくは興味があり仲間と交流したい。
- ・子供に「工夫する力」「コミュニケーション力」「協調性・自主性」を育ませたい。
- ・楽しむのが子供だけでなく親も一緒になって楽しめる場を求めている。
- ・子供にカッコいい大人の背中(生き様)を見せたい。
- ・親子でアウトドアの知識やスキルを身につけたい。
- ・子供に夢を持つ大切さ、実現する力を持ってほしい。

自然の中で、子どもと一緒に体を動かし、みんなで成長を見守り、親自身にとってもリフレッシュになる、一石二鳥どころではない最高の体験を親子で楽しみましょう！

一人じゃできないことも、仲間となら出来る。

そんな絆づくりの場所としてもみんなの役に立てるのでと、アウトドアコミュニティハンター×キッズは活動しています。



広島市

NPO法人 父子家庭 サポートネットひろしま

- 問 合 TEL.090-7545-5267(高松)
- 実施場所 主に広島市
- ホームページ
<http://fusisapo.jimdo.com/>



いつも子どもの笑顔が絶えない父子家庭を!

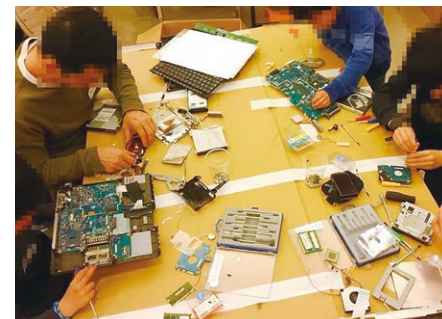
当団体は2012年10月に設立し、主に広島市で「いつも子どもの笑顔が絶えない父子家庭を!」を目標に子どもと、シングルパパの心身両面の負担が軽くなるように活動を行っています。

<活動内容>

- 親睦と料理上達を目的とした、子ども参加型の「料理教室」
- ひとり親家族に食料品等を提供する「フードバンク事業」
- 会員・ひとり親家庭の親睦を目的とした「BBQ会」
- 父子家庭・子どもに関わることをテーマにした父子サポカフェ等

サポートを行う市民と当事者が一緒になって活動に取り組んでいるのが大きな特徴です。また中区八丁堀に「相談連絡センター」を設置し、相談活動に力を入れています。父子家庭経験者が窓口になり、面談、電話、メールで相談ができる体制を整え、必要に応じて関係機関と連携を図っています。

広島市内には父子家庭世帯が推計約2200世帯とされており、支援を必要とする方になかなか会うことができないのが課題です。父子家庭について理解をして頂きながら、当事者、子ども、スタッフが笑顔になれるように活動を続けたいと思います。





呉市

呉市すこやか 子育て支援センター 「くれくれ・ば」

- 問 合 TEL.0823-25-3482
- 実施場所 呉市宝町2-50-レクレ4F
- ホームページ
<http://www.kure-kosodate.com/sukoyaka/kurekureba/>



ひとりの子育てからみんなの子育てへ

<『くれくれ・ば』って?>

0・1・2歳の乳幼児に配慮した親と子の安全・安心な子育て交流ひろばとして、親子で交流するためのスペースやファミリーに関する各種相談など、子育てを楽しみ、地域で子育てを支えていくための様々な要素を集約した、子育て支援拠点施設です。

<利用時間> 月曜日～金曜日 9:00～17:00 土曜日9:00～16:30
(日曜日・祝日・年末年始は休み)

<利用方法> 初めて利用される方はメンバーズカードを作成し、スタッフが施設をご案内します。

- <特 徴>
- 安全に配慮し、親子で楽しく遊べるひろばです。
 - ・誰かと出会える、つながりが持てるひろば
 - ・人に助けってもらえる、人の役に立てるひろば
 - 定期的な行事として
 - ・子育てサロン…毎週火・木曜日、第3土曜日 10:00～12:00
 - ・あかちゃんサロン…年4回開催(要予約) 10:30～12:00
 - ・育児サロン…年6回開催(要予約)2回1セット 10:30～12:00 など

※詳しいひろばの様子はホームページをご覧ください。



呉市

呉市すこやか 子育て支援センター 「ひろひろ・ば」

- 問 合 TEL.0823-76-1616
- 実施場所 呉市広古新開 2-1-3 広市民センター3F
- ホームページ
<http://www.kure-kosodate.com/sukoyaka/hirohiroba/>



ひとりの子育てからみんなの子育てへ

<『ひろひろ・ば』って?>

0・1・2歳の乳幼児に配慮した親と子の安全・安心な子育て交流ひろばとして、親子で交流するためのスペースや、子育てに関する各種相談など、子育てを楽しみ、地域で子育てを支えていくための様々な要素を集約した、子育て支援拠点施設です。

<利用時間> 月曜日～金曜日 9:00～17:00 土曜日9:00～16:30
(日曜日・祝日・年末年始は休み)

<利用方法> 初めて利用される方はメンバーズカードを作成し、スタッフが施設をご案内します。

- <特 徴>
- 「あなたの妊娠から子育てまでを見守る『ひろひろ・ば』」をコンセプトに、
 - ・利用者の利用者による利用者のためのひろば
 - ・妊婦にやさしいひろば ・子どもが夢中になれるひろば
 - ・新しい出会いのひろば…をめざし運営しています。
 - 定期的な行事として…「あかちゃんひろば」「おしゃべりひろば」「プレママひろば」などがあります。

※詳しいひろばの様子は HP をご覧ください。

・利用者ママのサークル「いろは」のブログ <http://ameblo.jp/irohairo-2/>



呉市

つくし文庫ジオジオの絵本会

- 実施場所 呉市焼山泉ヶ丘 1-11-4
呉市焼山泉ヶ丘自治会館



自治会館での絵本会が子どもたちの成長を見守っています

つくし文庫ジオジオは、呉市焼山泉ヶ丘自治会館の中にある本棚を中心に、文庫活動と絵本会を月に1回、第4土曜の10:00~11:00に開催しています。自治会館での絵本会というのは珍しいそうです。

2006年のクリスマス会からスタートして、今年で10年になります。

恒例の自治会放送は「ポンポンポン〜♪」10時から、泉ヶ丘自治会館で絵本会を開催します。小さい子どもも小中学生も、大人も、どなたでも遊びに来てください。」と、団地に声が響きます。この放送を、毎月楽しみにしている高齢者の方もいらっしゃると思います。

プログラムは、絵本の読み語りや紙芝居に加えて、昔話やわらべ歌、なぞなぞや手遊びはもちろん、時には人形劇や手品、何でもござれのお楽しみ会です。

お爺ちゃんやお婆ちゃんが孫を連れて来たり、ふざけている兄弟を「こりゃ」と、叱ったりすることもあります。また、1歳の女の子が小5になった今では、絵本の読み語りや紙芝居を演じて、小さい子どもたちの目標になっています。

近所のスーパーや公園でバツリ会う子どもたちに「元気? 大きくなったね。ジオジオで待ってるよ〜」と自然に手を振りあえるのは、私たちにとっても嬉しいことです。



呉市

文化と子育て支援ネットワーク応援団 サラダボウル

- 実施場所 広島県内
- ホームページ http://www.ikuchan.or.jp/circle/zeniki/post_056.html



安心して子どもを産み育てられる社会を目指してネットワーク創り

1995年に、映画『ガイアシンフォニー』を自主上映しよう!と集まった仲間とスタートしました。

子育て支援という言葉もない時代でしたが、子育て中こそ文化に触れて欲しいという想いから、映画上映に託児51名(障害児含む)を預かり、行政やメディアに、子育て中のパパママの想いを発信しました。

それから、『みんなで子育て』や『わくわく子育ておもしろ缶』など、子育て支援イベントを呉市、広島市で子育てサークルと共に開催。

イベントを通して、新しい時代の地域コミュニティを創り出すために、生活者の視点を行政やメディアに発信し続けています。

会員制を取らず、活動のテーマごとに同じ思いの人が集まるという、ゆるやかな人と人のつながりをとっています。又、小児医療の充実と向上を提案し、「エンゼル・ネットワーク」「えほんのつばさ」「呉かみしばいのつどい」とリンクして活動しています。

子育てにやさしい広島推進協議会メンバー。ひろしまこども夢財団地域子育てコーディネーター。ひろしまこども夢財団子育て情報ネットワーク連絡会委員。#8000 小児救急電話相談事業評価委員など。



呉市

呉かみしばいのつどい

- 問 合 TEL.090-6402-4579(関家)
- 実施場所 広島県呉市中央 6-2-9
生涯学習センター4階(つばき会館)
- ホームページ
<http://blog.goo.ne.jp/brookieandherlamb>



出前しま～す♪子どもの心に届く紙芝居

「呉かみしばいのつどい」監修 紙芝居『ふうちゃんのそら』は、呉市在住の中峠房江(なかたお ふさえ)さんの7歳のときの経験をもとに作られました。中峠さんは、これまでも自身の戦争体験を子どもたちに語ってきましたが、「呉空襲の体験を通して、平和な子どもの未来に希望を託せる紙芝居を作りたい」という長年の思いを形にしたのが『ふうちゃんのそら』です。70年経った今でも花火が怖いおばあちゃん(ふうちゃん)の話を、孫に語っていく紙芝居です。紙芝居・絵本作家よこみちけいこさん(呉市在住)の脚本と画により、戦争の怖さや悲惨さを表現するのではなく「命をつないでいくこと」を伝えられる作品が生まれました。出前『ふうちゃんの紙芝居コンサート』では、楽しい紙芝居の実演や、ピアノや楽器の伴奏に合わせて子どもたちと大合唱♪共感する喜びを体感できますよ!広島県内の保育所・幼稚園・小学校や児童館、子育てサークル等お問い合わせいただいた各地に出張してしま～す。ぜひ、お声かけくださいね!!そして、もう一つの出前講座「こどもの心に届く紙芝居講座」。子どもたちは紙芝居が大好き!!演じ方や選び方を知ると、すぐに子どもたちと心を通わせることが出来ます。活動に紙芝居を取り入れてみませんか?

出張紙芝居講座の様子(よこみちけいこブログより)

<http://blog.goo.ne.jp/yokoko123/d/20151007>

偶数月の第3金曜日10時から、呉市生涯学習センター(つばき会館)で紙芝居を学ぶ会を開催しています。一緒に紙芝居を学びましょう!!



呉市

トビキリ夏祭り実行委員会 「トビキリ夏祭り」

- 実施場所 呉市
- ホームページ
<https://ja-jp.facebook.com/tobikirinatsu>



子どもたちの心に残るお祭りを自分たちで!

トビキリ夏祭りは、アナログな遊び、ラムネの早飲みや紙芝居、子どもたちが楽しめるワークショップを取り入れたご家族で楽しんで頂くイベントです。

昔に比べて地域の祭りが少なくなっていく現状に、“子どもたちの心に残るお祭りを自分たちでできないか?”というのがきっかけで、2009年に始まり、去年で6回目を迎えました。子どもたちの心に残るお祭りになるように開催場所は固定しておらず、呉市内の旬な場所・僕たちが気に入った空間で開催。

第4回は、呉陸橋下にあった古き良き雰囲気の卓球場(現在は陸橋部分改修工事をした為卓球場はなくなり綺麗になってしまいました。)

第5回は「夏の町探検」と題して呉市中通2丁目界隈のお店を回るスタンプラリーで子供たちとお店の方のふれあいをテーマに開催しました。

第6回は「夏のたてもの探検」と題して、旧海軍が倉庫として使っていた築80年以上の木造洋館「呉YWCA」で開催し、歩くとギシギシと鳴る階段を始め、木の温もりと呉の歴史に触れる事ができるお祭りになったかと思えます。



呉市

食育サポート『やさいっ子』

- 問 合 TEL.090-5729-2478(高野)
- 実施場所 呉市近郊・広島市近郊
- ホームページ
<https://www.facebook.com/yasaiko/>



子どもたちに"愛"と"元気"の贈り物

人は食べるもので出来ていて、息をすることで生きています。“食”と“呼吸”は生きる土台となるのです。食育サポート『やさいっ子』は、食事の時間を使って「子どもたちに“愛”と“元気”の贈り物」をコンセプトに活動しています。

“命”の入り口である“口”、みなさん“口の育て方”意識されていますか？

“食べること”は自然に出来ることではなく、毎日のお食事で覚え、上手く食べられるようになっていきます。丸呑みしてしまう、噛んでくれない、食事中くちゃくちゃ言う、食べてくれないなど、せっかく作った食事を楽しく食べられるようになるには、意欲を引き出してあげることが大切で、ちょっとしたコツがいりますね。お口のこと、食生活のこと、みなさんで愉快地ランチタイムを囲みながら、一緒に楽しく学びましょう。ひとりでの食事より、みんなでの食事の方が美味しく楽しいに決まっています！

◆お口の相談会（歯科衛生士）▷▷▷

お口の発達、食べ方、むし歯予防、歯並び予防、おやつ、仕上げ磨き など

◆食の相談会（調理師）▷▷▷

旬の食材、レシピ、美味しい野菜、調理法、おすすめ品紹介 など

———みなさんで、美味しく楽しいランチタイム♪———

☆実際に子どもの食べ方、食べさせ方を見て歯科衛生士がアドバイスをしています☆

コラボして頂ける方も随時募集しております。



呉市

特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY

- 問 合 TEL.0823-24-5646
- 実施場所 呉市中央3丁目11-12PANビル3F
- ホームページ
<http://kure-yyy.org/>



子どもや若者の"やりたい気持ち"を応援

(特) 呉こどもNPOセンターYYYは、子どもたちがのびのび育つこと、また社会に夢や希望が持てることを願いながら、子どもや若者の“やりたい気持ち”を応援している団体です。最大の特徴は、乳幼児から80歳代までと会員層が幅広いこと。具体的にやっているのは、子ども体験活動、子育て支援活動、鑑賞活動です。

子ども体験活動では、家族だけでは機会がもちにくい、キャンプやいも煮会、雪あそびなどの自然体験、子どもがつくる子どものためのまちづくりイベントや、地域の商店街・廃校を使った忍者ごっこなどのまちづくり体験を行っています。

子育て支援活動では、人形劇サークルを結成し、市内の育児サークルや保育所などで公演。ママも好きなことで輝きたいと、自分たちで企画・上演しています。

また鑑賞活動では、年間3～4回、人形劇や舞台劇、芸能などの舞台を観たり、夏期に星空映画会を行ったりしています。子どもからおとなまで、本物に出会う！元気に楽しめる！ことを大切にしています。

他にも、市政やまちづくりについての講座など、関わった人たちがよりたくさんの価値観に出会える機会を提供しています。

詳しくはホームページをご覧ください。



竹原市

NPO法人 ふれあい館ひろしま

- 問 合 TEL.0846-22-9100
- 実施場所 竹原市中央 2- 4- 3
- ホームページ
<http://www.tanet.ne.jp/fureai15/>



笑顔で子育てができるようにお手伝いしています

NPO法人ふれあい館ひろしまは、2007年3月に「たけはらふれあい館」という名称で子育て支援活動をスタートしました。

主な活動は、親子で遊べるひろば(つくしんぼ)、子どもさんをお預かりする一時預かり(たんぼぼ)です。

毎月1回の子育て相談会(こころすくすく)、お誕生会(にこにこバースデー)、こうのとりのcafeなど、工夫を凝らしたイベントも実施しています。

親子さんが安心して、「ほっ」と息がつける様な居場所を目指して活動しています。

スタッフは地域の子育て中、子育て経験者、保育士など様々な世代がいます。

自分の子育てで悩んだり、困ったりしたこと、喜びを感じたことなどの経験を生かし、子育て支援の場で、お母さんたちが笑顔で子育てできるようにお手伝いをしています。

この他に、病後児保育(さくらんぼ)、放課後子ども活動(赤とんぼ)、ホスピスケア・介護相談(つむぎの路)、悩み相談(いのちのホットライン)など、「いのち」をキーワードに活動している複合施設です。

詳しくはホームページをご覧ください。



呉市

話のシャワー 絵本会

- 問 合 TEL.0823-71-9077
- 実施場所 呉市阿賀中央 6-2-16
阿賀まちづくりセンター



大人もいっしょになって自由にのびのびと楽しむ場です

どなたでも気軽に参加していただける絵本会です。

赤ちゃんからご高齢のかたまで、いろいろな方がいらっやいます。

その時の聞き手に合わせ、またリクエストに応じて絵本を読み、手遊び、わらべうたを楽しみ、アートワーク、折り紙や積み木で遊ぶ時間もとっています。

乳幼児だけの場ではありませんが、少し大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんが、絵本を聞いたり遊んだりするのを、赤ちゃんがじっとながめてうれしそうにしていたり、大きい子が小さい子の面倒をみながら絵本を楽しんでいたりと...

さまざまな年齢の子どもたちとともに、大人もいっしょになって、自由にのびのびと楽しむ場となっています。



東広島市

NPO 法人 子育てネットゆめもくば

- 問 合 TEL.082-431-3350
- 実施場所 東広島市西条町西条東 1300-3
A. I. T 101
- ホームページ
<http://yumemokuba.net/>



地域の子育て子育て環境を良くすることに貢献したい

キッズひがしひろしま ゆめもくば は、平成19年より、東広島市から「地域子育て支援事業、地域機能強化型利用者支援事業」の委託を受け、NPO 法人子育てネットゆめもくばが運営しています。

「ひろば」は、主に0歳～2歳の親子がくつろいで利用できる環境を整え、月曜から土曜までオープンしています。

スタッフは、直接相談にのるだけでなく、共通点を見つけて利用者同士をつなぎ、サポートしあえる関係性をつくることを大切にしています。親子の愛着形成、虐待防止、仲間づくりを目指して「ママほっと講座」「親子クッキング」「親子ヨガ」多胎児支援として「ふたごちゃんあつまれ」「妊婦さんの見学会」を定期開催しています。

また、小児科医、歯科医、臨床心理士、保健師、栄養士といった専門家の方に来ていただき、お話をいただいています。

今年度からは、あらたに「コーディネーターの日」を設け、利用者支援事業について広報しながら情報を提供しています。

私たちは、地域の子育て、子育て環境をよくすることにどう貢献できるか、小さくてもいいから新しい試みをひとつでも積み重ねられるよう活動していきたいと思っています。



大竹市

NPO 法人 子育てハッピーネット ほのぼのん

- 問 合 TEL.0827-57-8333
- 実施場所 広島県大竹市松ケ原町 445-2
- ホームページ
<http://members.fch.ne.jp/honobonon/>



自然に囲まれたログハウス "ほっと" して元気になってね

NPO 法人子育てハッピーネットほのぼのんが運営する「松ケ原こども館」は、自然豊かな大竹市松ケ原町にあり、ログハウスのかわいい建物が印象的な親子の交流の場です。外は芝生が広がり、大型遊具もあり思いきり遊ぶことができ、もちろん駐車スペースも広いです。

H28、7月より開館日が週3日から週5日になり、念願だった土曜日開館が実現しました。月・火・水・金・土曜日の10時～16時まで利用できます。

ランチルームもあり、お弁当やおやつを持って1日のんびり過ごして頂くことができます。季節の行事や毎月のお誕生日会、また講師を招いてのエクササイズやリトミック、積木等、各種講座も無料で参加できます。

地域の方々と協力して行う田植え、稲刈りなどの自然体験は毎年人気です。松ケ原こども館は、大竹市に限らず広島市内や岩国からの利用の方も多いため、乳幼児に限らず中学生まで利用していただけますので、ご家族揃って遊びに来てください。

松ケ原こども館に行くど「何だか心がほっとして元気になる」そんな温かい場をみんなで作っていきたく、笑顔いっぱいスタッフが待っています。

是非一度遊びに来て下さい。



廿日市市

大野第六区子どもの 居場所づくり委員会 六区子ども塾

- 問 合 TEL.0829-55-2873(青木)
- 実施場所 廿日市市大野第六区



子どもたちは地域で育てよう!子ども塾の取り組み

平成 26 年 4 月、地域が子育てを援助し、子どもが育つ場を提供する必要があるのでは…と考え、地域の 8 人で委員会を立ち上げ、「大野第六区子ども塾」の活動が始まりました。

「六区子ども塾」は、地域の小学生を対象に年間で 30 回以上の活動プログラムを行っています。一回ごとに学習時間の後、JA さんとサツマイモ植え、平和公園への遠足、夏休み勉強会、手品や折り紙の教室、しめ縄づくり、将棋教室や絵手紙教室など地域の様々な地域人材を活用して取り組んでいます。また、敬老会への出演や文化祭への作品出品、地域の集会への参加など、できるだけ発表の場につなげ地域との交流も進めています。

平成 28 年度は 42 名の小学生が登録し、25 回のカリキュラム、オープンの会を 13 日開催しました。最初は集団になじめなかった子どもが、次第にルールを身につけたり、積極的に関わるなどの成果が見られました。

今の子どもたちは行き場を失っています。今こそ、各地に居場所づくりが必要です。



東広島市

地域子育て支援センター マザーグースの部屋

- 問 合 TEL.082-420-4300
- 実施場所 東広島市高屋町中島490番地 5
- ホームページ
https://www.igl.or.jp/kinder/hoiku_higashihiroshima/support/index.html



地域に愛される子育て支援センターになりたい

「マザーグースのへや」は、遊びを通して親子交流の輪を広げるとともに、身近な相談機関として子育て家庭に対する育児支援をしています。

就学前までの子どもさんとその保護者を対象に、「子育てひろば」の定期活動は月～金曜日の 8:30～13:30 に実施しています。室内や園庭で自由に遊んだり、手作りおやつ、絵本やわらべうたと一緒に遊ぶ時間もあります。

そのほか、「庭であそぼう(在園児との交流)」・BP プログラム・子育て講座・土里夢講座(親子芋掘り)など様々なイベントも企画しています。

子育てについての相談は、電話や面談、メールなど随時受付けています。発達・精神的不安など、必要な場合は専門機関をご紹介します。

地域に愛される子育て支援センターとして、このような活動や個別の相談を通し、地域のみなさまの子育ての一助になりたいと思っています。





府中町 府中町社会福祉協議会
ボランティア協議会
おもちゃ広場「てぶくろ」

- 問 合 TEL.082-285-7278(府中町社会福祉協議会)
- 実施場所 安芸郡府中町浜田本町 5 番 25 号
府中町ふれあい福祉センター内
- ホームページ
http://www.ikuchan.or.jp/circle/fuchucho/post_075.html



みんなでおおらかに見守ってます！

おもちゃ広場「てぶくろ」は、布の遊具を作るグループとそのおもちゃを使ったオープンスペースのあそびの広場グループで活動しています。

メンバーが、子供たちの笑顔を思いながら、安心して遊べるように素材も工夫して作っています。お弁当箱、魚釣りなど 42 種類が貸出を待っています。リピーターも多いですが、子供会、老人会への新規貸し出しも増えています。ストラックアウトが大人気です！

遊びの広場では、子供たちが、お気に入りのおもちゃを取り合ってケンカになったりしますが、皆でおおらかに見守りながら、子供たちの思いやあそびを手助けしています。いろいろな触れ合いの中で、お母さん同士が情報交換したり、悩みや知恵を出し合いながら、子育てを少しでも楽しんでできるように応援しています。子供たちの成長を共に喜ぶことが、いちばんの喜びです！！



江田島市
星の家(ほしのおうち)

- 実施場所 江田島市沖美町畑

沖美の風景を一望できるリラックス空間

星の家は、地域住民の皆さんが年代を問わず集まり、ゆったりとリラックスできる空間を目指しています。子育てを一人するのは難しく、大変なものです。そんな中、子どもたちを遊ばせながら、保護者の皆さんがゆるりとくつろげる場所を提供したいと考えています。

星の家は、元々保育園でした。子どもたちのために造られた空間・開放的な造り、そして高台にあり沖美の美しい風景が一望できます。園庭の遊具はもちろん、こだわりのきのおもちゃやたくさん絵本・紙芝居に子どもたちはすぐに夢中になってます。弾けるような子どもたちの笑い声につられるように、地元の高齢者の方もふらりと立ち寄りくださいます。そして、昔の育児話を聞いたり、世間話などしていると、次第にどなたもほころんで…星の家はそんな、ゆったりとしたい人と人の繋がりを作るお手伝いをしています。

主な活動は、節分、ひな祭り、園庭での花見や七夕、お月見、クリスマス会など、季節の行事を実施しています。行事を行う側も参加する側も自由参加な活動なので、ゆる〜い集まりです。フラダンスや楽器のライアーなどのサークル活動も行っており、ママさんたちが子連れで楽しんだり、自分の時間をエンジョイしたりしています。



府中町

子育て支援サークル 「こつばき* mama」

- 問 合 TEL.082-286-3212(児童センターバンビーズ)
- 実施場所 (窓口)府中町社会福祉協議会
児童センター「バンビーズ」

府中町

府中町社会福祉協議会 ボランティア協議会 サークル「にじ」

- 問 合 TEL.082-285-7278
(府中町社会福祉協議会)
- 実施場所 安芸郡府中町浜田本町 5 番 25 号
府中町ふれあい福祉センター内

安心して子育て出来る関係を築く手助けを…

「こつばき* mama」は子育て中の保護者を対象にした小児医療講座をしている安芸郡府中町の子育て支援サークルです。子どもが急に病気やケガをすると、親はうろたえてしまうことが多いと思います。必要以上にあわてて、後から思えば「こうすれば良かった…」と苦い気持ちで振り返ることもしばしば。

「そんな時に落ち着いて対処できる“わたし”になるにはどうしたらいいかな？」をゴールに講座を実施しています。小児科医の先生・小児科専門の看護師さんなどに来ていただき、保護者と病院の上手な付き合い方や、相談しやすい関係づくりのきっかけにしたいと思っています。また、参加者が落ち着いて考える場づくりのために、託児を併せて行っています。過去の講座に参加した先輩ママが中心となり託児部門を担っています。

子育て中にイザという時、頼れる心強い存在は専門家だけでなく、身近な子育て仲間であることも少なくありません。

私たちは先輩ママとして、講座を通じて安心して子育てできる関係を築く手助けができればと思います。

左上: 小児医療講座案内チラシ

左下: 講座の様子 (平成28年)

右下: 託児の様子 (平成28年)



参加者とボランティアが共に楽しんでます

すでに我が子も社会人となり、「子育て」を共有してきた親同士が11年前に、「子育て中の親が集える場所を作りたい」と

社会福祉協議会に相談したのが活動の始まりです。

“親がりフレッシュできる場を提供する”ことで“いい親子関係を築くお手伝いをする”ことを目的に発足しました。

最近の活動はモノ作り中心ですが、それにより会話のきっかけができ、参加しやすくなりました。またママ達の参画により、参加者のニーズに近づいたのか、作る楽しみのために来られる方も増えました。

モノ作りしているママ達の顔は生き生きとして、子育ての息抜きにもなっているとのこと。できた作品を、家族に自慢できると、嬉しそうに持って帰る姿を見ると、こちらまで嬉しくなります。

※写真上・右下: 「牛乳パックのいす作り」と「かわいいチョコ作り」

これからも、来て良かったなあとってもらえるような、また、参加者とボランティアが共に楽しめる、取り組みをしていきたいと思っています。

※写真左下: 「楽器を作って鳴らして、バイオリン弾きの魔女とおばけ屋敷であそぼ〜」



海田町

海田子育て支援サークル くすくす

- 実施場所 安芸郡海田町南つくも町 11-16
ひまわりプラザ
- ホームページ
<http://www1.megaegg.ne.jp/~kusu-kusu-kaita/>



私たちも子育て奮闘中!!

私たち「くすくす」は、子育て中のママが、子育て中のママをサポートしようと海田町内を中心に活動を行っています。

「家族が1番・くすくすは2番!」「何事も楽しんで活動しよう!」「つらい時、誰かに相談しよう!」が私たちの活動のモットーです。メンバーには、上は21才から下は1才まで幅広い年齢の子どもがいます。

お母さん達の笑顔が少しでも増え、それを見た子ども達も笑顔になればと、願いながら活動しています。

自分たちが、泣いて・笑って・怒っている子育ての毎日をママたちに伝え、一緒に子育てを楽しんでもらえると嬉しいです。

現在、活動しているのは、5月・9月のみです。

*春に親子イベント(年1回)

(親子で楽しむイベントが盛りだくさんです。)

*9月に医療講座:小児科医師・看護師・救急救命士による講座

(子どもの病気やケガについての不安を取り除いてもらおうと開催:全4回)

同世代の子どもを持つ私たちだからこそ、お母さんたちの気持ちに共感できることがあるのではないかと考えています。



府中町

府中町社会福祉協議会 児童センターバンビーズ

- 問 合 TEL.082-286-3212
- 実施場所 広島県安芸郡府中町
鹿籠1丁目21番3号
- ホームページ
<http://bannbi-zu.jellybean.jp/>



幅広い年齢の人が遊びに来ています

児童センターバンビーズは、府中町鹿籠地区に2009年にオープンしました。

乳幼児親子から中高生まで幅広い年齢の人が遊びに来ています。様々な行事やイベントには、地域の方々がボランティアとして参加し、交流を深めています。お父さんも利用できる行事もあり、家族みんなで気軽に遊びに来ることのできる施設です。

乳幼児向けの行事では、未就園児を対象とした子育てひろばやおはなし会で工作やリズム、大型絵本の読み聞かせなど、行事を通して親子で楽しんでいます。他にも赤ちゃん親子を対象としたベビーマッサージも大人気です。

小学生向けの行事では、月に2回程度「つくってあそぼう」という工作を行っており、どの家庭にでもある簡単な材料で子ども達が気軽に工作できる場をつくっています。また、子どもが店長をする青空カフェや園芸クラブなど子ども達の主体的な活動が出来る事業を行っています。中高生向けでは、中高生委員会やライブ実行委員会、料理講座など思いを形にできるよう支援し、活躍できる場の提供を目指しています。

写真左下:小学生向け「作って遊ぼう」 写真右下:ライブ実行委員会



坂町

福島・東北支援グループ 「てのひら」

- 問 合 TEL.082-820-1770
- 実施場所 安芸郡坂町平成ヶ浜2丁目2-95
なぎさ若竹保育園子育て支援センター
「なかよしハウス」内



一緒に頑張ろう!!の思いを届けるために

私たち《てのひら》は2013年9月に結成したボランティアグループです。
『忘れてないよ、一緒に頑張ろう!』という声を届けたい思いで、支援センターに来ているママ達が集まってグループが生まれました。
活動内容はその時々皆で話し合い決めていきます。
子ども達はボランティアさんや先生に見守ってもらいながら、ゆったりと・・・でも真剣に、出来ることから!と、取り組んでいます。
これまでに、どんぐり等の実を送ることから始まり、手作りの作品をお互いでプレゼントするなどの交流をしています。

この秋、活動も3年が経ちました。これからもスタッフでアイデアを出し合って、試行錯誤しながら『福島の《今》をみんなに伝えたい』という思いも持って活動したいと思っています。



熊野町

くまの・みらい保育園 「ぱおちゃんルーム」

- 問 合 TEL.082-820-5000
- 実施場所 広島県安芸郡熊野町神田 15-1
くまの・みらい保育園
- ホームページ
<http://mimyo.org/kumano-mirai/>



「ぱおちゃんルーム」での出会いに感謝

くまの・みらい保育園の子育て支援室「ぱおちゃんルーム」を開室して、今年で9年目になります。月曜日から金曜日の10時から12時まで、地域の子育て中の親子がつどい、みんなで楽しく遊んでいます。
ぱおちゃんルームが始まった時「ぱおちゃんルームってどんなところだろ」と不安な思いで来られた親子もおられました。そのお子さんも今は小学3年生になりました。
地域の方々のニーズもわからないまま始めたぱおちゃんルームですが
「ぱおちゃんルームがあったから辛い時の子育てでも乗り切ることができました。」
「ぱおちゃんルームがあったから、たくさんのママ友が出来て、今につながっています。」
「ぱおちゃんルームは実家に帰って来た感じがしてほっとします。」など
お母さん方から嬉しいお言葉をいただく度に、子育て支援の担当をさせていただくことに、感謝をしています。
お母さんだけでなく、おじいちゃんおばあちゃんなどさまざまな方々がお子さんを連れて来られますので、私たちスタッフは、時にはお姉さんや友人、お母さん、おばあちゃんになり、子育ての悩みやその他いろいろなお話を聞いています。
これからも遊びに行きたくなる様な「ぱおちゃんルーム」の雰囲気づくりを心掛けていきたいと思っています。ぱおちゃんルームの内容は、くまの・みらい保育園ホームページの「子育て通信」からご覧いただけます。



安芸太田町

夢づくり交流館 筒賀児童センター

- 問 合 TEL.0826-32-7100
- 実施場所 山県郡安芸太田町
大字中筒賀 401 番地
- ホームページ
<http://www.akiota.jp/jidou/tsutsugajidoucenter.htm>



安芸太田町

野うさぎ文庫

- 実施場所 広島県山県郡安芸太田町



さあ!子どもたちが帰ってきた!!放課後の子ども達と

筒賀児童センターは、放課後児童クラブと町内外の人たちとの交流連携の機能をあわせもち、12年前に設立された町の施設です。中国自動車道の戸河内インターを降りてすぐ、太田川沿いに児童館と夢づくり交流館という木造の緑の屋根付き運動場が見えてきます。自然に囲まれたセンターでは、町内複数の小学校からバスに乗り、授業を終えた1年生から6年生までの子どもたちが帰館してきます。

そして、自然体験や季節の行事、地域の方や講師を招いての行事などのプログラムや、ものづくりやみんなであそぶ行事などを計画し、いろいろな地域の子も達が関わり合って過ごしています。館内は、手作りの遊び道具や折り紙で作った壁画など、子どもたちの夢を育む作品がたくさん展示され、図書館も併設されています。また、屋根付きの運動場では、サッカーや野球、フットベースボール、バドミントンなど、雨天の日も思いっきり体を動かしてあそびを満喫しています。センターは、町内外の人たちの交流連携の場にもなっており、乳幼児親子から18歳までの子どもたち、地域の人や町に訪れる人たち・・・と、様々な人たちが利用します。夏休みなどの長期休暇には、祖父母の家に帰省中の子ども達が利用し、周りの自然と触れ合う姿も見られます。

これからも、安心して子どもたちを任せていただけるよう、チームワークを発揮しながら、さらなる力量の向上に努めてまいりたいと思います。



自然といっしょに

わが町安芸太田町は、自然の中でいきいきのびのびと子育てをさせてもらえる町です。その町で、野うさぎ文庫は18年前に誕生しました。

絵本が好き、子供と一緒に楽しみたいと集まったメンバーは現在27名です。

文庫メンバーの声により14年前には立派な図書館もできました。

私たちの興味の扉をひらき楽しませてくれる絵本を抱えて、月に1、2回のペースで小学校、保育所、図書館でおはなし会を開いています。

子供達の無限に広がる興味の横に絵本や本があったらどんなに心豊かに育つことか…

また、この町でしかできない自然と向き合える子育てがここではできます。

「筒賀の龍頭峡にヒキガエルのたまごがありましたよ～!子供たちと一緒に見に行きませんか案内しますよ」。

文庫の子育て中のお母さんから連絡がありました。

長年、田舎にいても見ることが出来なくなったヒキガエル。

静かな森の中にひっそりと小さな命がゼリー状のロープの中に美しく並んでいました。

童心にかえり、豊かな環境であることに喜びを感じました。

戸河内インターすぐそばにそんな自然が待っています。ぜひご家族で遊びに来てください。



三原市

みらい子育てネット・みはら

- 問 合 TEL.0848-67-1123(三原市児童館)
- 実施場所 三原市城町1丁目18-1
三原市児童館



いろいろな団体とつながり合いながら活動しています

私たちは、全国地域活動連絡協議会を母体とする民間の子育て支援団体です。三原市子育て支援課の助成を受けて行政や地域、他の支援団体と連携を図りながら活動しています。

私たちの活動の柱は、①「親自身が集い学びあう場づくり」②「親子が集い楽しむ場づくり」③「支援者同士がつながり合い育つ場づくり」の3つで、毎年親子イベントやママサロンなどを開催しています。

親子イベントは年に数回開催しています。ふれあい遊びやわらべうた、親子クッキングなど親子の絆を深める時間の他、親への子育てに関するお話の時間や親同士の交流の時間なども設けて、親育ちを支援しています。

ママサロンは小学生から高校生までのお子さんのいる方を対象に年6回開催しています。ケーキ作りをしながらの交流を通して関係づくりをし、お互いに子育ての悩みを相談し合えるような場を設定しています。

その他、児童館主催の「児童館フェスタ」に参加し、子どもが切り紙工作をできるワークショップブースを出したり、複数の行政会議等に出席したりしています。



三原市

ほんごう子ども図書館

- 問 合 TEL.0848-86-6066
- 実施場所 三原市本郷町南6丁目21-37
- ホームページ
<http://www.mihara.co.jp/~kodomotosyokan/>



大切な体験ができる図書館へ遊びに来てください

JR山陽本線本郷駅前にある「ほんごう子ども図書館」は、2001年7月にオープンしてから今年で16年になります。

国産杉だけで建てられたログハウスの子供図書館は、建物は三原市からお借りして、ボランティアで力を合わせて運営をしています。

今も杉の香りと木の温もりが来館者を優しく迎えています。

本の貸し出し(一人3冊・貸し出し期間2週間)やおはなし会などを行っています。

おはなし会以外の主な行事は、竹炭体験・手作り絵本講座・木工教室・秋の子どもまつり・焼き芋大会・クリスマスのおはなし会など一年中楽しいことをやっています。

どれも、赤ちゃんから大人まで、どなたでも参加できます。

近くに「子ども広場なんじゃもんじゃ」があり、畑で野菜作りをしています。

夏にはカレー・秋には焼き芋の材料になります。みんなで育てた野菜は美味しいですよ。

子どもたちは、本の世界を楽しむことにより「豊かな心」を培い、遊びを通して、「生きる力」を養っています。

この大切な体験ができる図書館へどうぞ遊びに来てください。

お待ちしております。

休館日：木・日曜日・祝日



三原市

家庭文庫ぽと

- 問 合 TEL.090-9412-6578(村上)
- 実施場所 三原市本郷南 6 丁目 16-5
- ホームページ
<http://genki365.net/gnkm05/mypage/index.php?gid=G0000039>



待ってま〜す!!

「むらかみさ〜ん、こんにちは」
 自宅の一室を開放している「家庭文庫ぽと」に、親子連れの元気な声が響きます。
 1992年に開設し、毎月第1・3木曜日の10:00～12:00と14:00～16:00に、約7,000冊の絵本たちが待っています。内容は、絵本の読み語り・貸出・簡単な工作などをしながら、お母さんの様々な声に耳を傾け、わいわいがやがやと一緒に考えています。

家庭菜園「ぽとえん」で野菜作りもしています。
 看板もみんなの手作りで、地域の方にご指導をいただきながらの初挑戦でした。
 嬉しかったのは、トマトが苦手だった子が、自分で収穫することで、トマトが大好きになったことです。
 絵本を読むだけでなく、芋掘り・大根の収穫などの実体験ができるといいなと思います。

子どもの時に何回も“読んで”と持ってくる絵本は、子どもにとって一生の宝物です。
 親子ひっきりもつきで、楽しく読んでくださいね。
 自称“えほんのおばちゃん”は、いつも待っていますよ。そして、どこでも出向きます。



三原市

久井・八幡の子育て応援隊

- 問 合 TEL.0847-32-7101
- 実施場所 三原市久井町和草 1906 番地 1
 三原市社会福祉協議会久井地域センター内



ワイワイ楽しく活動しています

私たちは三原市久井・八幡地域で活動しているボランティアグループです。「みはら子育て・まちづくりミーティング」※の支援を受けて平成26年に結成されました。メンバーには、子育て支援者と子育て当事者の両方がいます。当初は「子育て情報マップの作成・配布」と「子育て支援者のネットワークづくり」を活動の目的としていたのですが、「子育てサロン」を作りたいというメンバーの熱い思いが形となり、現在月2回「子育てサロン」を開催しています。ベビーマッサージ、親子ふれあい遊び、絵本の読み語りなどのほか、広い部屋でのびのびと自由遊びができるので、子どもたちもうれしそうです。

「子育て情報マップ」は年2回発行。4月には支援センターやサロン、赤ちゃん教室、困った時の相談先、託児できる場所などの基礎情報が載ったマップ、夏から秋ごろにテーマのあるマップ（「ほたる」、「あそび場」など）を作っています。マップの作成の過程で様々な機関や人々となつなげることができました。出来上がったマップは、保健福祉課と連携し、母子保健推進委員さんに久井・八幡地域の未就園児のいる全戸に配布していただいています。ワイワイ楽しく活動しています。小さなお子さんのいる方もそうでない方も、ぜひ遊びに来てください！

※「みはら子育て・まちづくりミーティング」三原市の子育てに関わる複数の行政、社会福祉協議会、子育て支援者や支援団体、子育て当事者が一堂に会した会議。月1回開催。



尾道市

生口島子育て支援センター「はっぴい」
NPO 法人 ひだまり

- 問 合 TEL.0845-28-1345
- 実施場所 尾道市因島洲江町 49-1



地域の子育て親子の「はっぴい」を応援!

NPO 法人ひだまりは、平成 20 年 7 月から尾道市の南部の瀬戸田町(生口島)で、障害児とその家族を支援するための事業所を行っています。

平成 27 年 2 月に閉園していた幼稚園施設に事業所を移転し、7 月には、お母さん方が待望する地域子育て支援拠点、生口島子育て支援センター「はっぴい」をオープンしました。

施設は暖かな木造のゆったりとした空間と、芝生の庭には遊具もあります。子育て親子が、安心して気軽に遊んだり、他の親子と交流したり、子育て講座に参加しています。スタッフは、地域のニーズの把握に努め、お母さんの様々な相談に対応しています。一人ひとりを大切に接しています。

地域の子育て親子が、「はっぴい」を利用して、笑顔で子育てができることを目指してこれからも色々な活動していきますので、よろしくお祈りします。



尾道市

特定非営利活動法人
はぴままクローバー

- 実施場所 (事務局)尾道市御調町綾目 1443-2



支え合い、安心して子育てができる地域を目指して

私たちは平成 25 年に発足した子育て支援の市民団体です。
「お母さんの幸せを応援する」活動を尾道市北部の御調地区で取り組んでいます。
「地域の子育てを地域で支えたいね!」と、平成12年から続いてきた子育てサークル、オープンスペース「0123 みつぎ」を卒業した先輩ママたちが集まり、「これから子育てをがんばるママを応援しよう!」と始めました。
現在の主な活動は、地域子育て支援拠点事業「みつぎ子育て支援センターみつげ」の運営で、平成 26 年 7 月にスタートしました。
他にも子育ての相談やお母さんの就労を応援する事業などに取り組みます。
私たちは、「子育て支援」を子供の育ちや子育てのサポートだけでなく、お母さんの人生を応援することと考えました。
家族のこと、仕事や自分らしさ、地域とのつながりなど・・・。
ママの Happy が周りの Happy につながることを願って、さまざまなサポートをしています。
メンバー自身も子育て真っ最中。
支え合いながら、安心して子育てができる地域を目指して取り組んでいきます。よろしくお祈りします。
Facebook [NPO 法人はぴままクローバー] で検索してください。



尾道市

みらい子育てネット きゅうぴい mama

- 実施場所 尾道市・三原市
- ホームページ
<http://kyuupimama.seesaa.net/>



出会いとつながりを大切にしています

みらい子育てネット きゅうぴい mama は、「出会い・つながり」を大切にしながら、子育ての応援をしているボランティア団体です。

私たちが主催する「きゅうぴい mini」は1歳半以上のお子さんと保護者が対象の親子サークルで、尾道市東部公民館で毎月2回、定員制で活動中です。

サークル卒業後もスタッフとして残ってくれる先輩ママ達が心強い存在です。

出席をとる・絵本を読む・手遊びをするなど、無理のない範囲でみんなで少しずつ担当をしています。

三原市木原町の古民家を拠点としたサロンでは、親・応援者それぞれを対象にした、参加者同士の交流・情報交換・和む・学ぶ時間を計画中です。

サークルの始まりは14年前になります。

「上の子もお母さんと遊べるようにしたい」と「親も学び、交流する時間が欲しい」という想いからでした。子どもの成長と共にその時々で情報交換や子育ての話ができる「親のため」の場と仲間づくりができればいいなと思っています。

子どもが幼稚園や学校に行き始めても子育てはまだまだ続きます。

親も子どもと一緒に成長していけたらいいですね！

応援しています。



尾道市

尾道市社会福祉協議会 保育ボランティア おのママサポーターズ

- 問 合 TEL.090-1353-6090(代表:鳥尾^{からすお})
- 実施場所 尾道市門田町22-5(尾道市社会福祉協議会)
- ホームページ
<http://onomichishirube.sakura.ne.jp/main/shien/kosodateshien/onomama.htm>



おのママのモットーは「和」です

尾道市内で行われるイベントや講演会、子育て支援事業やPTA行事などの際に、子どもさんを安心・安全にお預かりし、子育て中のお母さんの社会参加をサポート・援助しています。

赤ちゃん大好き!子どもが大好き!な私たち。

かわいい赤ちゃんの笑顔に癒され、子どもたちにパワーをもらいながら、元気いっぱい活動しています。

目指すは、安心して預けていただける、そしてお母さんに喜んでもらえる質の良い保育ボランティア。

振り返りで問題点を話し合い、研修でスキルアップも欠かせません。

「おのママさん、ありがとう」「あっ、おのママさん来てくれたよ」

そう言ってもらえるのが、何よりの励みです。

尾道市に住む、子育て中のたくさんのお母さんと子どもたちとの出会いを大切に、お母さんがいつも「笑顔」で「楽しく」「いきいき」と子育てができるよう力になりたいと思います。

一緒にがんばりましょうね。

おのママのモットーは会員同士の「和」です!



福山市

NPO 法人 こどもステーション

- 問 合 TEL.084-965-6625
- 実施場所 福山市神辺町道上 2862-1
ハートラボ内
- ホームページ
<http://kodomostation.or.jp/>



子育て・子育てを地域で応援!

私たちは、「子育て・子育てを地域で応援!」をモットーに子どもたちの幸せと幸せな子育てを願って活動しています。2003年から開設していた、絵本の読み聴かせサロン「こども文庫」に集っていたママたちが『いつでも気軽に集える場所を作って子育てを応援したい』と活動を開始しました。NPO 法人化と常設の拠点づくりを目標に任意団体「こどもステーション」をつくり、活動日を増やし毎週2回の子育てサロン開設、子育て支援情報紙づくり、小学生の子ども居場所づくりにも乗り出して活動を続けること7年!協力いただける企業と出会い、2012年5月に、子育てひろば「もこルーム」をオープンしました。広島ガス東中国(株)様のショールーム「ハートラボ」2階の子育て支援室をお借りし、平日の毎日子育てひろばを開設しています。また、2007年から続けてきた「子ども・子育て情報紙『はらっぱ』」も大変好評で、毎月2,500部、企業の協賛によって発行を続けています。保育サポーター養成講座を開き、終了して登録したサポーターが「もこママ」として、もこルームのスタッフやイベント託児スタッフ、一時預かりの保育サポーター、面会交流援助者として活動しています。しんぐるまざあずカフェ、面会交流援助活動、不登校の親の会を行っています。乳幼児期から暮らしの中で伝える「性の健康教育プログラム」を開発し着手しています。また、「いのちまるごとプロジェクト事業」として、他県ともネットワークをつくり、「もしかして、これってDV?」「離婚・別居を考えているお母さんお父さんへ」の2種類のパンフレット作成しています。これからも、社会のニーズに沿った様々な活動を展開していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



尾道市

子育て応援団 ほっとの会

- 問 合 TEL.0845-22-6562
(尾道市社会福祉協議会因島支所)
- 実施場所 尾道市因島三庄町 2257 番地 3(三庄公民館)
- ホームページ
http://www.ikuchan.or.jp/circle/onomichishi/post_051.html



大勢で食べる楽しさを伝えています

子どもには、「友だちと遊ぶこと」は欠くことのできないものですが少子化で近所に子どもがいない状態があります。私たち、子育て応援団「ほっとの会」は、子ども達が集まる場所が必要だと考え「あそびの広場」が始まりました。そんな中、広場で子どもの食事について悩んでいるお母さんの話を聴き、今度は食育に取り組んでみようと考えました。はじめは、「ほっとの会」のメンバーとお母さんと一緒に簡単なものを作っていましたが、今は、尾道市の栄養士さんに献立をたててもらい、調理は地域の保健推進員さんをお願いしています。いろいろな人に関わっていただき、大勢で食べる楽しさを感じながら「あそびの広場」を開催しています。これまででは、『心育での食育』に重点を置き、力を入れてきましたが、今後は『身体育での食事』にも力を入れていきたいと思っています。



福山市

えほんの国

- 問 合 TEL.084-959-4192
- 実施場所 福山市西町1-1-1エフピコRim6階
- ホームページ
<http://ehonnokuni.jp/>



からだ全体で絵本の世界を楽しもう

えほんの国は『親と子が一緒に楽しめる施設』をコンセプトに2013年11月に誕生しました。入口で出迎えてくれるのは、猫なのか？カバンなのか？不思議で巨大な生き物【カバン猫】。まるで絵本から飛び出してきたような世界がえほんの国には広がっています。ずらりと絵本が並んだ【えーほんとしょじつ】、大きなホワイトボードにラクガキできる【がきらくひろば】、影絵遊びもできる和空間【かげえーの間】等仕掛けがいっぱいの楽しい空間には2,800冊以上の絵本！大迫力の大型絵本や、開いてビックリな仕掛け絵本等めずらしい絵本もたくさんあります。

当日限り時間制限無し・何度でも再入場可能な上に飲食スペースもあるのでお弁当等持参でゆっくりとくつろいで頂けます。さらに、えほんの国があるエフピコRim6階には、授乳室と多目的トイレを完備しているので赤ちゃん連れでも安心です。館内では絵本の読み聞かせの他、リトミックやリズム遊び、工作等、様々なイベントやワークショップも随時開催しています。

家族で楽しいがいっぱい詰まった絵本の施設《福山市えほんの国》へ是非遊びに来て下さいね。



福山市

コミュニティ型子育てひろば 「もこルーム」

- 問 合 TEL.084-965-6625
- 実施場所 福山市神辺町道上 2862-1
ハートラボ内
- ホームページ
<http://kodomostation.or.jp/s-moko.php>



誰もが安心して集い語り合う場に

こんにちは、「もこルーム」です。もこルームは、プロパンガス会社、広島ガス東中国(株)様の体感型ショールーム「ハートラボ」2階の「子育て支援室」をお借りして、NPO法人こどもステーションが運営しているコミュニティ型子育てひろばです。平日(月曜日～金曜日)の10:00～16:00 オープン。

一日・一世帯の利用料は、100円。12:00～13:00は、ランチタイム。お弁当を持ってくれば、一日ゆっくり過ごすことができます。

1階には、素敵なキッチンがありますので、子どもをもこルームで見合いっこしながら簡単な料理をして食べることもできます。親子で楽しむイベントや、ママのためのイベントも盛りだくさん。子どもが幼稚園・小学校に行っている間に、ママがふらっと立ち寄り、「一時預かり」を利用して、どこかへお出かけしたり、お友だち同士でグループ専有利用したり、使い方はいろいろ。お気軽にご相談ください。

「もこルーム」は、誰もが安心して集い、語り合うためのひろばです。そこにいるみんなでお互いに子どもたちをあたたく見守りましょう。温水式床暖房完備で、ほんわかあったかいのも自慢です。イベントの紹介は、こどもステーション(福山)で検索または、子ども・子育て情報紙「はらっぱ」(毎月2500部発行)ブログ こどもステーションの「ぶらっとほおむカフェ」をご覧ください。



福山市

社会福祉法人昌和福祉会
子育てサポートステーションいくたす

- 問 合 TEL.084-931-6606
- 実施場所 福山市入船町3丁目 1-60
イトーヨーカドー2階
- ホームページ
<http://www.ho19.jp/untitled24.html>



「いくじ、たのしい、すばらしい」が合言葉

福山市中心部に近い大型商業施設内の地域子育て支援センターです。

「いくじ、たのしい、すばらしい」と感じられるような子育て支援をしています。

福山市の様々な子育てに関する情報を提供し、土日祝日も隔週で開館しています。また、施設内で一時預かり事業も行っています。いつも遊びに来る場での保育なので安心して利用していただいています。

子育てについての講座も定期的で開催しており、年齢別・発達段階別の活動を考えた講座のほか、子育ての悩みや意見を交わし自分らしい子育てについて考える『ママのおはなしタイム(親プロ)』を、月に一回定期的に行っています。初めて出会う保護者が気軽に話をしていただける雰囲気になっています。

これからも「いくたす」は力強い地域のサポーターとともに、子育て家庭の伴走者でありたいと思っています。



福山市

ふくやま子育て応援センター

- 問 合 TEL.084-932-7284
- 実施場所 福山市西町1-1-1エフピコ RiM 6階
- ホームページ
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kosodateouen/>



一緒に子育てを楽しみましょう!お待ちしております

福山駅前、エフピコRiM6階・7階にある「ふくやま子育て応援センター」は「子育て支援事業」「ことばの相談室」「ファミリー・サポート・センター事業」「利用者支援事業」を行っています。子どもたちが健やかに成長することを願って、子育て支援、相談を行い、ご家庭やお子さまの状況に応じた機関の紹介やいろいろな子育て情報をご案内しております。プレイルームは、広々としたスペースで、子どもと向き合える場所。家ではなかなか遊べない木のすべり台や、ままごとコーナー、絵本コーナー、折り紙コーナーなど、子どもの発達に合わせたおもちゃがいっぱいです。ベビースペースもあるのでハイハイ中の赤ちゃんも安心。予約は不要なので、気が向いた時に立ち寄ることができます。

土日は、ファミリーの利用も多く、パパが一人で子どもを連れてきても安心して遊べるスペースとなっています。プレイルームの奥にある多目的ルームでは、毎週1回「0歳あそびのひろば」「1歳あそびのひろば」を開催しています。

同年齢の子どもを遊ばせながら、ママ同士交流できるので、情報交換の場としてもぴったりです。

子育てをしているとたくさんの喜びを感じることもあれば、悩んだりすることもあると思います。そのような時は、一人で悩まず、ふくやま子育て応援センターへお越しください。一緒に子育てを楽しみましょう!職員一同お待ちしております。



三次市

NPO 法人 三次科学技術教育協会 MISTEE

- 実施場所 三次市十日市東 3 丁目14- 25
三次市生涯学習センター内
- ホームページ
<http://mistee.b.la9.jp/>



子どもたちがいつでも実験や工作を楽しめる場を

三次科学技術教育協会は、科学や技術が好きで、科学や技術を楽しみたい人、そして何より、科学や技術を伝えたい人が集まった、サイエンス・ボランティア団体 (NPO 法人) です。

小学校の PTA 活動などを通じて子どもたちの実体験の不足、理科離れを実感し、子どもたちをはじめとして、地域の人に科学技術の楽しさを伝える活動をしています。

実験講座に参加した子どもたちが、集中して実験や工作を行っている姿や、実験がうまくいったときあるいは深く理解し納得が得られたとき見せてくれる笑顔、「他にもいろいろな実験をしてみたい」と言ってくれたときなどなど…活動していてよかったなあと思います。

目標は Exploratorium (サンフランシスコにある体験型科学博物館) です。

子どもたちがいつでも実験や工作を楽しめる体制作りを目指しています。

三次科学技術教育協会：略称は MISTEE (ミステイ)。

英文表記、Miyoshi Institute of Science and Technology Education の頭文字です。

写真上：水と空気で動くおもちゃ作り講座

写真左下：夏の星座観測会

写真右下：科学研究相談会



三次市

一般社団法人 ひろしま森のおもちゃ協会

- 問 合 TEL.0824-66-1828
- 実施場所 三次市江田川之内町 503-1
- ホームページ
<http://morimoritoy.com/>



「森あそび」と「木育」を通したつながりを

ひろしま森のおもちゃ協会は、「森あそび」と「木育」を通して、ひろしまの豊かな自然と人々をつなぎ赤ちゃんから高齢者までが豊かに楽しく暮らすことができるまちづくり、ひとづくりに関わっていきこうと 2016 年 6 月に立ち上げた団体です。森とおもちゃが、みんなの心をモリモリげんきにしたらいいなという想いで活動しています。木育のイベントをしたいけど木のおもちゃは持ってない、工作教室したいけど材料がない、森に入りたいけどどうやって遊ぶの??? そんな方に、対象や要望に合わせた企画、提案を行っています。

・・・あそびの教室・・・

- 木のおもちゃ教室 カプラであそぼう (すべての年齢層向け)

木のおもちゃであそぼう (親子向け) 子どものおもちゃの選び方 (大人向け)

- ボードゲーム教室 (年齢に合わせて)
- ウッドクラフト教室

- 森のがっこう 森あそびを楽しむネイチャーゲームやたき火、森のブランコづくりの指導
- ・・・ウッドクラフトキット・・・

当会オリジナルの工作キットは広島県の木材を使った安心安全のキットです。

・・・おもちゃレンタル・・・

- 木の玉プール 直径 4 センチの木玉が 7500 個のプール (サークル付)

- ボードゲーム 3 歳から高齢者まで年齢に合わせてご用意できます

- 木のおもちゃ 年齢にあわせたセットがあります



三次市

生活空間 ととのえ

- 問 合 TEL.080-6310-4537(梶川)
- 実施場所 広島県三次市東酒屋町 1154-8
- ホームページ
<http://totonoekobito.blogspot.jp/>



経験から見つけた生活の知恵を届けたい

現在5歳の息子。背中にはスイッチがあり、寝かしたら泣く子でした。
2歳まで昼寝もずっと膝の上。夜中の授乳は2時間おき。
初めての育児と、家事の両立はほんとうに大変でした。
やってもやっても家事や片付けは終わりがなく、自分の時間も作れずイライラすることが増え、夫婦の喧嘩も増え、笑顔で過ごせない毎日…
そんな中、『物の量を自分がイライラせず管理できる量に調整する』ということを実践しました。
そうすると!! 楽!!!
物がないと手入れをしたり、片づけたりという作業がない分、自分時間ができて、ちょっと楽に過ごせるようになったのです。しんどかった子育てもなんだか楽しくなって、時間にも心にもゆとりがもてるようになりました。
今は、同じように悩みながら子育てをされている方、もっとこうしたい!こうなりたい!と考えておられる方々のサポートがしたいと思い、おひとりお一人にあった整理整頓収納のコツ、家計管理の方法、時間の使い方等々をお伝えする活動をしています。自分を癒し、自分を愛し、子どもやパートナーの個性を認め、笑顔いっぱい楽しい毎日を過ごしてもらいたいと思っています☆



三次市

一般社団法人 結「キッズさぼーと yui」

- 問 合 TEL.0824-55-6664
- 実施場所 広島県三次市島敷町 844-1
- ホームページ
<http://kidsyui.com/>



ともに笑い喜び時には助け励まし合える仲間づくりを進めています

キッズさぼーと yui は、平成27年5月に一般のお子さまの「一時保育」、発達に課題のあるお子さまの「児童発達支援」「放課後等デイサービス」障害児(者)の「日中一時支援」(日中のお預かり)を始めました。

四季折々の自然豊かな三次市を中心とした公園、図書館などで行われるイベントに参加し、子どもたちに自然体験、地域の人とのふれあい、異年齢の子どもたちとの交流の機会を提供しています。

この地域に
「こんな人がいる、こんなところがある」ということを
「見て、触れて、感じて」体験することで、
「子ども自身で考えて行動する」学びの力と子どもたちの豊かな感性を育みます。
発達に課題のある子もそうでない子も、この地域で「ともに笑い、喜び、ときには助け、励ましあえる仲間づくり」を進めています。



庄原市

一般社団法人 里山子ども未来会議
庄原子育て支援センター
「庄原ひだまり広場」

- 問 合 TEL.0824-75-0222
- 実施場所 庄原市中本町 2-13-1
(JR 備後庄原駅舎内)



みなさんの "陽だまり" でありたい

庄原子育て支援センターは、平成28年度より庄原市から「子育て支援センター事業業務」の委託を受け、一般社団法人 里山子ども未来会議が運営しています。

庄原地域にある子育て支援センターの一つであり、JR 備後庄原駅舎内にあります。奥の部屋の窓を開ければ、そこは駅のプラットフォーム！列車の本数も乗客も多くはありませんが、目を輝かせて小さな手をいっぱい振る子どもたちの姿に、乗客の皆さんや運転手さんも手を挙げて笑顔で応えてくださいます。

ここでは、子ども同士を遊ばせながら子育て家庭の交流ができ大人も子どももほっとできる居心地のいい空間です。地域のみんで子育てができるように、いろいろな人との出会いや関係作りを大切にしたい、そして、おひさまのぬくもりに包まれて心が温まる“陽だまり”のような場所でありたいと願っています。

開所日：月～金曜日（祝・祭日を除く）9：00～12：00 13：00～15：00

利用方法：来所については予約・利用料は不要 ※行事参加については予約が必要

住所に関係なくどなたでもご利用できます

主な行事：「あかちゃん広場」「うたに合わせてマッサージ」「子育て相談」

「おしゃべり広場～手作りおもちゃの集い～」

「地域ひだまり広場～地域へお出かけ～」



三次市

NPO 法人三次おやこ劇場
子育てフリースペース KADOYA

- 問 合 TEL.0824-63-1745
- 実施場所 三次市十日市中 3-1-27
- ホームページ
https://www.ikuchan.or.jp/service/shop/01008_0000.html



子ども見守りのやさしさの拠点でありたい

呉服店だった古民家を利用した「子育てフリースペースKADOYA」は、NPO法人三次おやこ劇場の子育て支援事業の一環として運営しています。不登校の子どもたちの居場所づくりでスタートしました。ボランティアスタッフとして集まって下さったのが、0～3才の子育て中のお母さんで、活発な活動を展開。2011年には三次市子育て支援センターの一つとなりました。月曜日から金曜日、11時～16時まで開所しています。首のすわったばかりの赤ちゃんから、保育所入園までの子どもたちとお母さん、おばあちゃん、お父さんが遊びにこられます。また、子ども服・婦人服などのリサイクルコーナー、喫茶コーナーも開設していますので、地域の高齢者も気軽に自由に出入りでき、さりげない世代間交流ができる場となっています。8畳2間つづきの遊び場と積み木、おもちゃやボールがあります。小さな庭もあり、子どもたちを自由にあそばせながら、お母さん同士、おしゃべりしたり、学習会をしたり、ゆったりと交流ができます。

「ここに来ると心がほぐされる。子どもたちもここが大好き」と、元気になって帰られるお母さんたち。

開所して10年、地域の方々との温かいつながりの中で子どもたちを見守ってもらえるやさしさの拠点でありたいと思っています。



庄原市

庄原の小児医療を考える ひだまりの会

- 問 合 TEL.0824-75-0222
- 実施場所 庄原市中本町 2-13-1
(庄原子育て支援センター 庄原ひだまり広場内)
- ホームページ
<http://ameblo.jp/shobarahidamarinokai/>



庄原で楽しく安心な子育てを!

「庄原の小児医療を考える会」は、平成 21 年の夏、当時庄原唯一の小児科がある庄原赤十字病院の小児科の二人の先生の派遣期間が年度末で終わってしまうということを知り、小児科がなくなってしまうのでは・・・との危機感から、親として庄原の小児医療を守るために何かできることをしていきたいという想いを持った親が集まり、この会を立ち上げました。

会員は、子育て支援センターひだまり広場に集う子育て中の親たちです。

多くの市民に小児科の現状を知ってもらうこと、病気に対する知識を学び、上手な受診のしかたを広めることを目的とし、「小児医療学習会の開催」や、「通信の発行」、「庄原赤十字病院小児科待合室と小児科病棟の壁面飾りの作成」をしています。

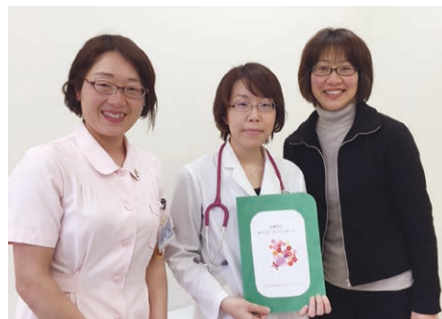
また、受診する親が先生に親近感を持つことで、相談しやすい関係を築ききっかけにしたいと考え、赴任してこられた小児科の先生のプロフィールを作成し、小児科待合室や子育て支援センターに掲示しています。

その他、医師や看護師が子どもたちに治療の説明をする時などに使用する、クワニズドルを「広島クワニスクラブ」の活動に賛同し作成しています。

身近な小児科の存在は子育てにとっての安心感であり、大きな心の支えです。

私たちは、庄原の小児医療を守っていくために、活動の輪を広げながら、

親としてできることをしていきたいと思います。



庄原市

パネルシアターサークル 「ほっとけーき」

- 問 合 TEL.0824-72-6720
- 実施場所 庄原市板橋町 181-3
(板橋子育て支援センター 板橋ひだまり広場内)
- ホームページ
http://www.ikuchan.or.jp/circle/shobarashi/post_058.html



親子で楽しんでいます

子育て中のママたちで結成しているパネルシアターサークル『ほっとけーき』です。
パネルシアターってご存知ですか？

パネル地のパネルに不織布で作った人形をのせるだけで、アラ、フシギ!!

シールも磁石もないのに、くっついちゃいます。

そんな人形を使って歌やお話しをします。

月 1 回おしゃべりしながら練習しています。

練習していると、我が子が覚えて真似してくれるので親子で楽しんでいます。

ママ友もでき、子ども同士も仲良くなってリラックスできます。

メンバーの新しい魅力を発見できることもサークル活動の魅力の 1 つです。

一緒に作り上げていく楽しさや達成感・満足感も味わえます。

他の活動団体とのつながりが生まれたり、地域のイベントに呼んでいただくことで地域のみなさんとのつながりが持てうれしく思います。

子どもたちの笑顔にいやされたい方一度見に来てください。

メンバー常時募集中!

活動日 毎月第 1 木曜日 10:00 ~ 板橋ひだまり広場にて

☆出前パネルシアターの依頼も受付中!!



庄原市

一般社団法人 里山こども未来会議 板橋子育て支援センター

- 問 合 TEL.0824-72-6720
- 実施場所 広島県庄原市板橋町 181-3



身近な自然の中でたっぷり遊んでいます

板橋子育て支援センターは、平成28年度より庄原市から「子育て支援センター事業業務」の委託を受け、一般社団法人 里山こども未来会議が運営しています。

『板橋子育て支援センター』は元保育所の建物を利用しているので施設が広く、活動的な遊びが楽しめます。園庭には小さな子ども用の大型遊具もあり、外遊びも楽しめます。春はお花見、夏は水遊び、秋は落ち葉遊び、冬は雪遊びと季節を感じながら遊ぶことができます。また、昼食時の利用ができるので、お弁当を持参してみんなで一緒に食べることもできます。子ども同士の交流、子育て家庭の交流に最適な場所です。身近な自然の中で、元気いっぱい遊べる活動も行っています。

わんぱく広場：子どもたちが元気いっぱい遊べる行事です。

お楽しみ会：お母さんの自主活動…絵本の読み聞かせ・手遊びなど、運動会やクリスマス会なども企画されます。その他にも子育て中の方の癒しの時間として“アロマでリフレッシュ!!”の集いやカラーレッスンなど。

地域ひだまり広場：庄原の地域へ出かけ遊んだり、世代間交流もしています。

開所日 月～金曜日（祝・祭日を除く）9:00～14:00

子どもたちはたっぷり遊び、お家の方は子育てを楽しめる…そんな所になっています。

